



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

この日本語版は、投資家様への便宜を図る目的で、正文の英語版より和訳したものです。適宜、英語版をご参照ください。

アフリカ開発銀行グループ

変化をもたらす

投資家様向けプレゼンテーション
2024年8月

目次

▼	01	アフリカ開発銀行グループの概要	3
▶	02	アフリカ開発銀行の財務状況	26
▶	03	資本市場における取組み	38
▶	04	参考資料	48
		財務諸表	49
		サステナブルボンド枠組み	51
		アフリカ経済見通し	57
		よくあるご質問	61



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

アフリカ開発銀行グループ の概要



アフリカ随一の開発金融機関

AfDBグループ：共通の目標を掲げ、法的かつ財政的に独立した3つの機関で構成



アフリカ開発銀行 (AfDB)

- 1964年設立
- 81の加盟国
- 授権資本：3,160億米ドル
- 資本市場から資金を調達
- バーゼルⅡに基づくリスクウェイト0%
- バーゼルⅢに基づくレベル1



アフリカ開発基金 (ADF)

- 1972年設立、譲許的融資を行う機関
- 域外加盟国29カ国（含アンゴラ）と域内加盟国5カ国（アルジェリア、ボツワナ、エジプト、モロッコ、南アフリカ）が出資
- 引受額：約500億米ドル
- 低所得国が対象
- 3年ごとに資金増強



ナイジェリア信託基金 (NTF)

- ナイジェリアにより1976年に設立
- 貧困国が対象
- 2028年まで存続
- 資金総額：2億4,200万米ドル

ガバナンスと監督

総務会

- 最高意思決定機関
- AfDB加盟国の財務大臣および国際協力大臣で構成

理事会

- 総務会が選出する20名の常任理事で構成（アビジャンに常駐）
- アフリカ開発銀行の一般業務を監督

総務会、理事会のいずれの決議も、3分の2の多数、または、加盟国が要請する場合は70%の多数が必要

アフリカにおける貧困削減と生活環境改善に注力

(2024年5月31日時点)

アフリカの開発のため、60年にわたるパートナーシップ

アフリカ

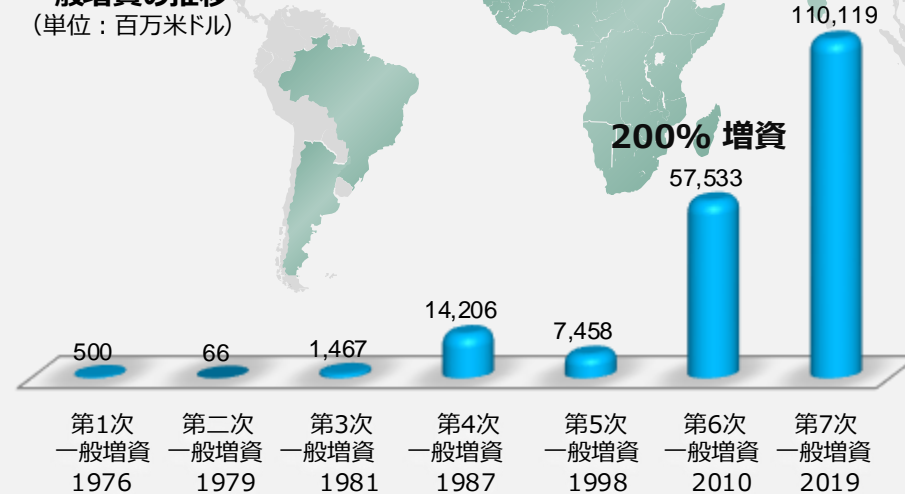
ナイジェリア	8.962%	ナミビア	0.338%
エジプト	6.212%	南スーダン	0.323%
アルジェリア	5.159%	マラウィ	0.320%
南アフリカ	4.981%	ブルンジ	0.223%
モロッコ	4.643%	ニジェール	0.208%
コートジボワール	3.821%	ベナン	0.201%
ガーナ	2.229%	リベリア	0.193%
リビア	2.161%	マリ	0.174%
ジンバブエ	1.715%	トーゴ	0.164%
コンゴ民	1.684%	ルワンダ	0.135%
エチオピア	1.535%	ガンビア	0.129%
チュニジア	1.427%	エスワティニ	0.111%
ケニア	1.298%	シエラレオネ	0.106%
ザンビア	1.170%	スーダン	0.094%
アンゴラ	1.083%	レソト	0.090%
セネガル	1.002%	赤道ギニア	0.064%
カメルーン	1.000%	サントメプリンシペ	0.064%
タンザニア	0.825%	チャド	0.059%
ボツワナ	0.761%	カーボベルデ	0.056%
マダガスカル	0.647%	モーリタニア	0.053%
モーリシャス	0.637%	中央アフリカ	0.035%
モザンビーク	0.578%	エリトリア	0.031%
ガボン	0.443%	ソマリア	0.029%
ブルキナファソ	0.407%	セーシェル	0.022%
ギニア	0.395%	ジブチ	0.008%
ウガンダ	0.389%	コモロ	0.008%
コンゴ共	0.382%	ギニアビサウ	0.007%

アフリカ諸国
60%

非アフリカ諸国
40%

G7諸国の出資比率
27%

一般増資の推移
(単位：百万米ドル)



ヨーロッパ

ドイツ	3.997%
フランス	3.600%
イタリア	2.327%
英国	1.787%
スウェーデン	1.507%
スイス	1.406%
ノルウェー	1.130%
デンマーク	1.123%
スペイン	1.016%
オランダ	0.846%
アイルランド	0.788%
ベルギー	0.615%
フィンランド	0.469%
オーストリア	0.428%
ポルトガル	0.231%
ルクセンブルク	0.199%

中東

クウェート	0.428%
トルコ	0.380%
サウジアラビア	0.186%

米州

米国	6.352%
カナダ	3.691%
ブラジル	0.143%
アルゼンチン	0.080%

アジア

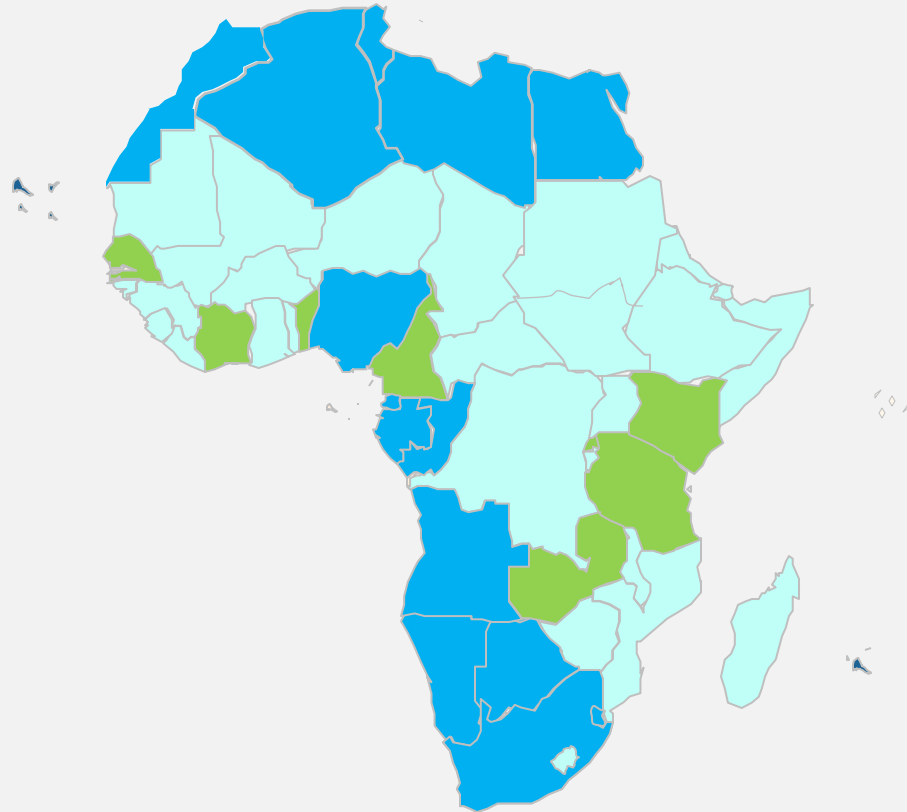
日本	5.279%
中国	1.236%
韓国	0.461%
インド	0.276%

(2024年6月30日時点)

アフリカの開発のため、60年にわたるパートナーシップ

ニーズに応じた効果的なパートナー

健全なマクロ経済状況と持続可能な債務プロファイルを
有する国々に対する選択的な金融サービスの提供



AfDBソブリン事業
AfDBの融資適格となる
中所得国17カ国

基準：

- 1人当たりGNI (国民総所得)
- 国の信用力

AfDB・ADFの両方の融資に適格
8カ国

ブレンド国6カ国 (カメルーン、コートジボワール、ケニア、セネガル、タンザニア、ザンビア)

改訂された2014年信用ポリシーによって
AfDBの資金源にアクセスできる**ADF加盟国**
2カ国：ベナン及びブルワンド

ADF譲許的融資

ADFのみの融資・無償資金供与の
適格となる低所得国29カ国

民間セクター事業

付加価値と開発成果が見込まれる
有望企業や多国籍プロジェクト

- 直接融資
- クレジットライン
- 資本参加
- 保証

付加価値及び開発成果の評価：主要指標

- GDP成長率 (%)
- 一人当たりGDP (2010年米ドル基準) *
- アフリカのガバナンスに関するモ・イブラヒム指標 **
- 税収及び税外収入
- ジェンダー格差指標
- 生産効率
- 水関連ショックに対する強靱性 (指標)
- 難民及び国内避難民の人数

エンクレーブ融資

ADFの譲許的融資のみに適格な諸国で実施される
自律的で輸出志向型のプロジェクトに対する融資

*米ドル建てGDPの数値は2010年基準で自国通貨から換算。データは2010年価格で表示。1990年、2000年及びその他の年は2010年価格で表示。

**各国のガバナンスのパフォーマンスの統計的評価。

ニーズに応じた効果的なパートナー

アフリカの開発アジェンダの中心にあるHigh 5s

アフリカの開発アジェンダの中心にあるHigh 5s



ハイファイブズ (High 5s) は、アフリカが国連のSDGsの90%近くを達成することに寄与し、また、アフリカ連合 (AU) のアジェンダ 2063と本質的にリンクしている

包摂的 (インクルーシブ) な成長を実現し、アフリカのグリーン成長への段階的移行を支援するため、AfDBの10カ年戦略を遂行

オペレーションを通じアフリカの未来へ投資

アフリカに真のチャンスを提供、開発を加速し、世界の他の地域と融合

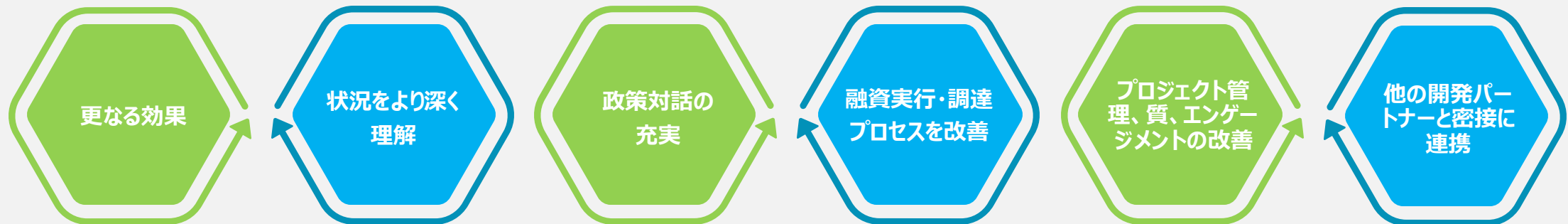
AfDBグループの融資承認額と支払済額

(単位：100万米ドル)



注:

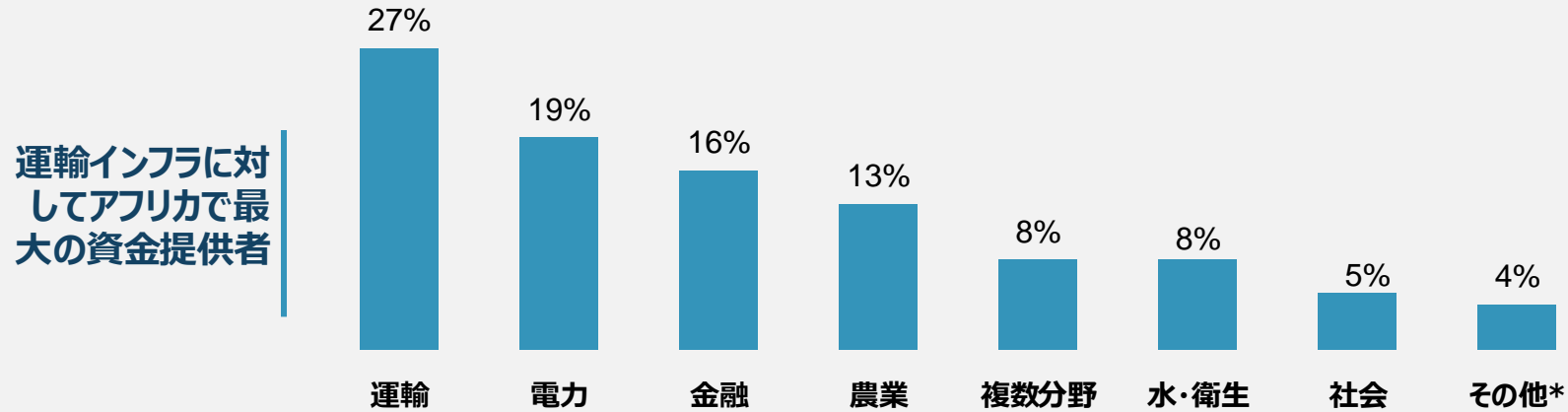
融資、無償資金、出資、緊急オペレーション、重債務貧困国の債務救済、融資配分の見直し、保証、ポスト紛争国ファシリティを含む



適切な投資と政策により、アフリカにおけるSDGs目標は達成可能

パンデミック後の融資回復

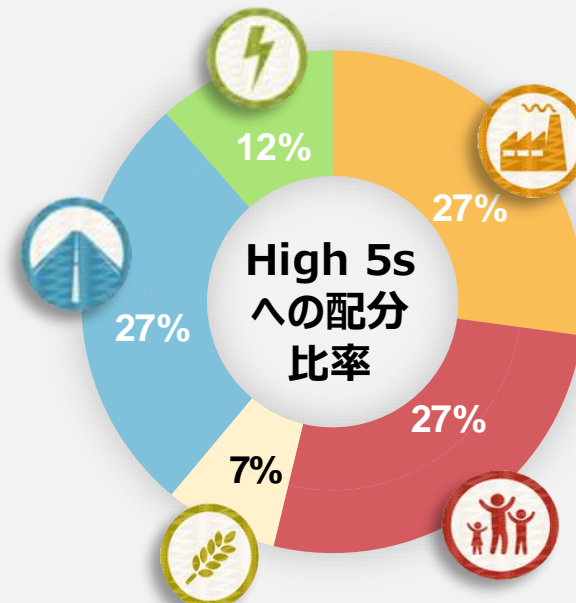
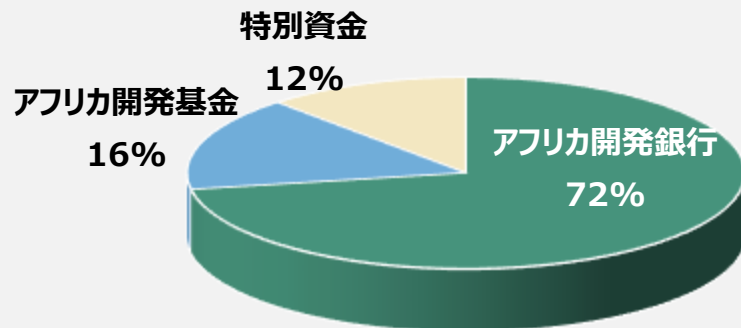
AfDBグループの600億米ドルのポートフォリオのセクター別分布



(2023年12月31日時点)

注: 「その他」には、工業、通信、環境が含まれる

組織全体で貢献





全ての人のためのエネルギーで 包摂的（インクルーシブ）な成長を促進

アフリカ大陸全体で電力が大幅に不足

アフリカのエネルギー使用は世界で最少

- 52%の家庭が電力にアクセス（2015年は45%）
- 9億人がクリーン調理へのアクセスがない
- 世界で最も電化率の低い国のうち20カ国がアフリカ
- 1人あたり年間エネルギー消費量は730 kWh（米国では13,000 kWh、ヨーロッパでは6,500 kWh）

電力需要は2030年までに3倍になると推計

- 大陸全体で191GWの設備容量（ドイツでは204GW）
- 停電により、年間GDPの0.2-4%が喪失
- 90%の小学校で電力不足
- 病院・救急サービスへの障害

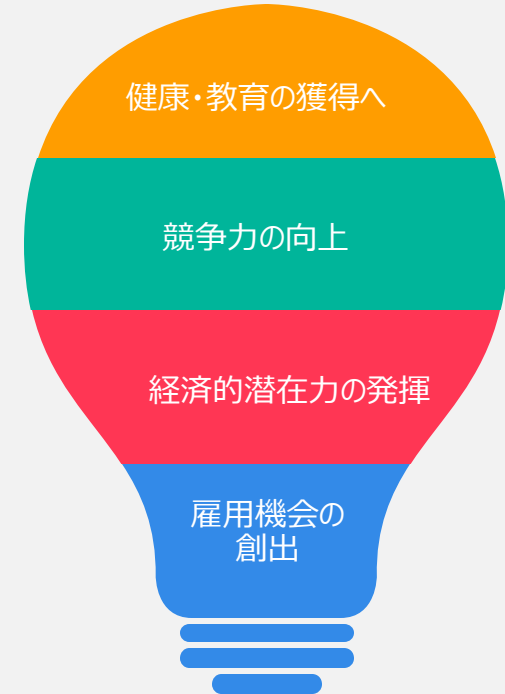
よりクリーンで、二酸化炭素排出の少ないエネルギーへの強い需要

豊富な再生可能エネルギーの潜在力
太陽光10TW、水力発電350GW、風力110GW、地熱15GW（現在の設備容量46GW）

再生可能エネルギーに年間700億米ドルのインフラ投資が必要

革新的技術とファイナンスの仕組みが必要

工業化を促進し、貧困からの脱却を目指す



エネルギーは人間の生活に必要不可欠

アフリカ大陸に必要な、信頼でき、手の届く価格の、環境に優しい（グリーンな）エネルギーへのユニバーサル・アクセス

電力グリッドを連結しアクセスを拡大



AfDBの投資優先事項

- 電線・変電所の建設・改修に投資し、エネルギーコスト削減、アクセス・安定性改善、投資誘致につなげる
- 国境を越える相互接続プロジェクトにより、発電容量を合理化し、余剰電力を輸出する

グリーンで包括的な成長を促進するクリーンな水力エネルギー

カメルーン - 電力セクター回復支援プログラム (PARSEC) 、フェーズ I
AfDB融資額：7,400万ユーロ
承認：2023年

カメルーンの電力供給を増やし、電力セクターのガバナンスを改善することで、強固で包括的かつ持続可能な経済成長に適切な条件を作るプログラム。その目的は、国内の家庭や工業用の需要を全て賄えるだけの豊富な電力を生産し、近隣諸国へのエネルギー輸出国となるために十分な電力を蓄えること。

期待される開発効果：

- 2030年までに発電量を1,652MWから5,000MWへ300%増加
- 満たされていない工業用の需要を40%削減
- プリペイドメーター普及率を42%増加

2023年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 240万人に新たに電力を供給
- 40,000kmの配電線が新設・改善
- 1,400kmの送電線が新設・改善
- 322MWの新規電力容量が導入

アクセスを改善するための国内電力網の強化

ケニア - ラストマイル接続プロジェクト III
プロジェクト総額：1億1,500万ユーロ / AfDB融資額：1億100万ユーロ
承認：2023年

ラストマイル電力接続プロジェクトの第3フェーズは、家庭、公共機関、中小零細企業 (MSMEs) 向けに適切かつ安価で信頼できる電力へのアクセスを向上させるインフラ整備への介入。

期待される開発効果：

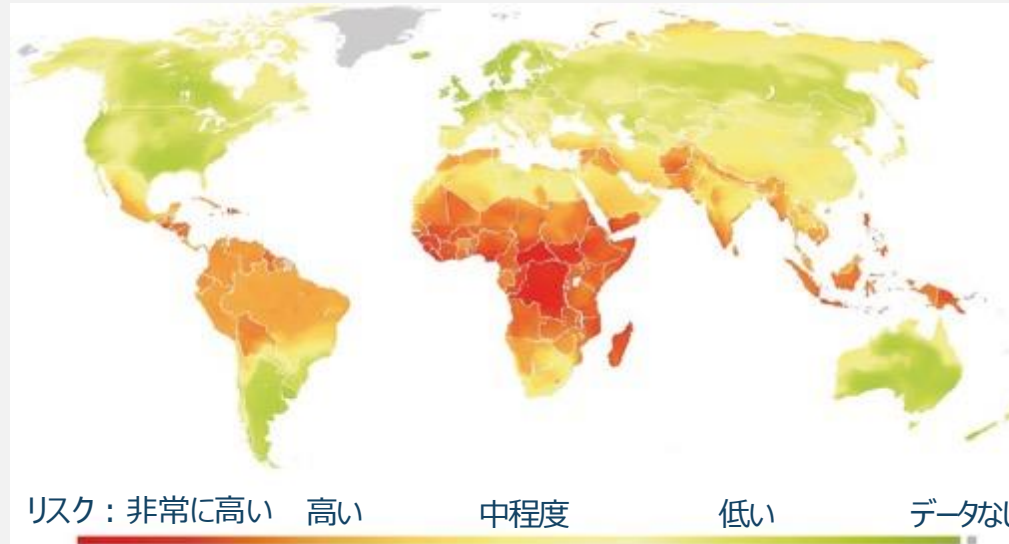
- 14万世帯が電力へアクセス
- 年間3,440トンの二酸化炭素排出量が削減
- 停電が25%減少
- 5万4,000人の雇用創出

アフリカの気候変動アジェンダ

2030年までに気候変動に適応するため、アフリカは年間1,180～1,450億米ドルが必要

気候変動リスクは最も貧しく脆弱なコミュニティを脅かす

- ◆ 海面上昇、干ばつ・洪水の増加
- ◆ 農業の生産性、食料の安定供給の妨害
- ◆ 水・エネルギー安全保障への脅威
- ◆ 貧困状況の悪化
- ◆ ソブリン格付への影響



出所：Climate Change Vulnerability Index 2017 - Verisk Maplecroft

世界で最も脆弱な5カ国のうち4カ国がアフリカ

アフリカの温室効果ガス排出量は世界全体の4%未満

世界の気候変動関連ファイナンスのうちアフリカ向けは3%未満

アフリカを異常気象から守る

- ◆ 効果的な早期警戒警報の予測・発出能力の向上
- ◆ 増加する気象上の脅威に対処するための技術革新の促進
- ◆ ガバナンス、効果的な政策と制度の強化
- ◆ 世界の気候変動関連ファイナンスの結集

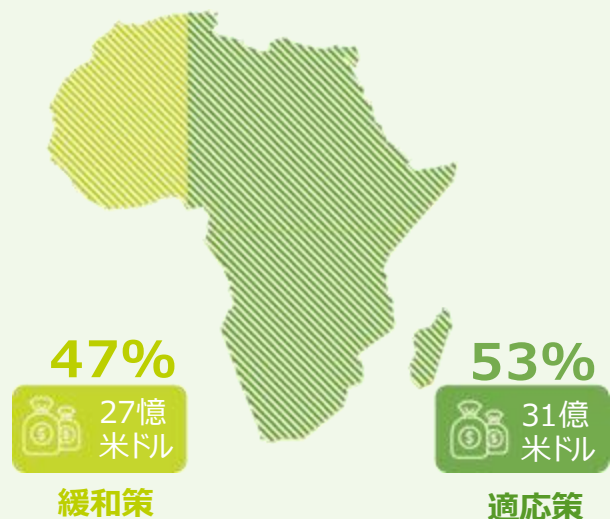
成長・開発に向けた計画により、気候変動への強靭性を構築

気候変動にスマートに対応する開発へのファイナンス

2023年のAfDBの事業の97%で気候変動が主流

2023年の気候変動ファイナンス

58億米ドル = 全AfDB承諾額の**55%**



2023年に外部の気候変動基金から4.5億米ドルの協調融資を動員



国が決定する貢献（NDC : Nationally Determined Contributions）を
実行するためにアフリカは3兆米ドルが必要

アフリカ適応加速プログラム (AAP)

- ・ グローバル適応センター（GCA : Global Center on Adaptation）とのパートナーシップ
- ・ 2025年までにアフリカの適応を支援するため、250億米ドルの拠出をコミット
- ・ AfDBはGCAのアフリカ事務所を開設

アフリカNDCハブ—技術支援を提供し、NDC目標を達成するためのパートナーシップ・プラットフォーム

- ・ アフリカ54カ国がパリ協定を批准し、49カ国がNDCsを更新、9カ国が長期的な低炭素・気候変動対応戦略（LTS）を提出
- ・ ガボン、リベリア、レソト、ボツワナ、モザンビーク、ウガンダにおけるLTSの継続支援
- ・ ブルキナファソ、エチオピア、ザンビアにおけるNDCの実行支援

複数国 – サヘル地域における食料・栄養不安からの回復力強化プログラム、プロジェクト2

プロジェクト費用：2億8,500万米ドル / カナダ-AfDB融資：540万米ドル
承認：2023年

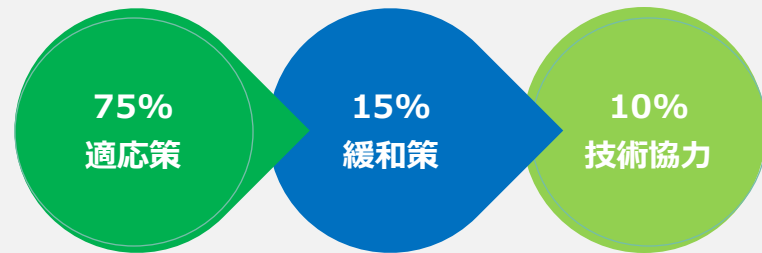
農業、林業、牧畜、漁業のバリューチェーンにおける生産性、生産量、収入を持続的に増加させ、気候変動リスクをより良くコントロールすることで国民の適応能力を構築し、気候変動の緩和に貢献することを目的としているプログラム。最も脆弱な世帯を対象とし、低炭素インフラ及び開発を通じて、天然資源及び環境の持続可能な管理に貢献する。

アフリカは気候アクションをサポートする膨大なグリーンフィールド投資の機会を提供

パリ協定のためのインパクトあるイノベーション

ADF加盟国における気候変動への影響が大きいプロジェクトを対象とする気候アクション・ウィンドウ

- 4億2,900万米ドルをシードマネーとして、外部の気候変動ファンド、国家、民間セクターを含む非国家主体による協調融資を通じて最大130億米ドルの資金を動員
- 気候変動の影響を最もやすい受ける37の低所得国および脆弱国に対する贈与
- 農業、水の安全保障、気候サービスと情報、輸送、グリーン・エネルギー、グリーン・ファイナンスにおける持続可能で気候変動に強いインフラの開発を支援



期待される開発効果：

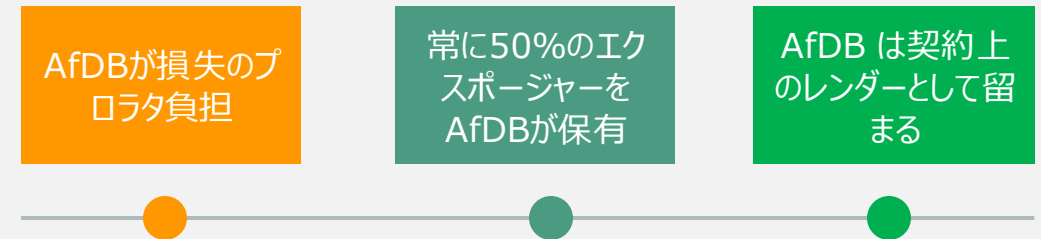
- **2,000万人**の農民が気候変動に強い農業技術へのアクセス
- **1,800万人**に持続可能な水、衛生設備、保健サービスを供給
- **950万人**が再生可能エネルギーへアクセス
- **100万**ヘクタールの荒廃地を復旧

ルーム・トゥ・ラン・ソブリン (Room-to-Run Sovereign) -気候変動資金を支援する新たなリスク移転制度

主な取引の特徴

AfDBのソブリン・ポートフォリオの20億米ドルのサブセットに関するリスク分担メカニズム：

- 民間保険会社が提供する最大4億米ドルのファースト・ロス保険
- 外務・英連邦・開発省 (FCDO) による16億米ドルのセカンド・ロス保証



気候変動資金の追加融資

- 2022年–2025年にかけて、気候変動資金プロジェクトに対するAfDBのコミットメントを最大20億米ドルに拡大
- ソブリン・ポートフォリオのリスク格付け及び自己資本比率 (S&P リスク調整後資本 (RAC)、フィッチ 自己資本/リスク加重資産比率 (FRA)、AfDBのリスク資本利用率 (RCUR)) の改善)

サヘル地域における太陽光の活用



サヘルを世界最大の太陽光発電所に変える

新しい方法

- 革新的なブレンド・ファイナンス・パッケージ
- 金融・専門機関、ディベロッパー、政治イニシアティブとの協力
- 新技術の活用



サヘル地域の2500万人が電気のない生活

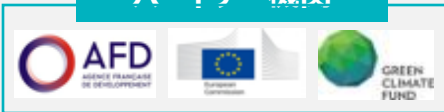
未活用の太陽光の有する高い潜在性

「砂漠に電力 (Desert to Power) イニシアティブ」

- 経済的、社会的、環境的に脆弱なサヘル地域を変革し強靱性をもたらす
- 2030年までに10GWの太陽光発電容量を有する世界最大の太陽光ゾーンを創設

複数地域「砂漠に電力イニシアティブ」 - 225 KVモーリタニア・マリ間の電力接続及び関連する太陽光発電所開発プロジェクト
プロジェクト費用：8億8,800万米ドル / ADFによるグラント：3億300万米ドル
承認：2023年
2カ国間の送電接続の構築と、電力グリッドの構築を通じて、モーリタニアとマリにおける太陽光発電と送電能力を増強し、電力アクセスを向上させることを目的としたプロジェクト。

パートナー機関



環境に優しい電力へのアクセスを拡大

再生可能エネルギーへ民間セクターを誘致

移住を減少し、紛争を予防

貧困削減、食料安全保障の向上

農業及びその他経済活動の促進

女性参画・雇用を強化

2023年に承認された「砂漠に電力」プロジェクト

エリトリア	デケムハレ30MW太陽光発電プロジェクト
モーリタニア	ミニグリッドによる農村電化プロジェクト
複数国	225KV モーリタニア・マリ間の電力接続及び関連する太陽光発電所開発プロジェクト
複数国	サヘル地域のための「砂漠に電力」地域技術支援プログラム

アフリカは再生可能エネルギーの宝庫であり、気候変動対策としてグリーンなソリューションを提供。



農業を開発の最前線へ

アフリカの課題は世界的な関心事項

人口

- 2億3200万人が飢餓・栄養不足状態（概ね4人に1人）
- 栄養不足によりアフリカのGDPの11%が損なわれている
- 5歳未満の子供の34%が発育不全

経済

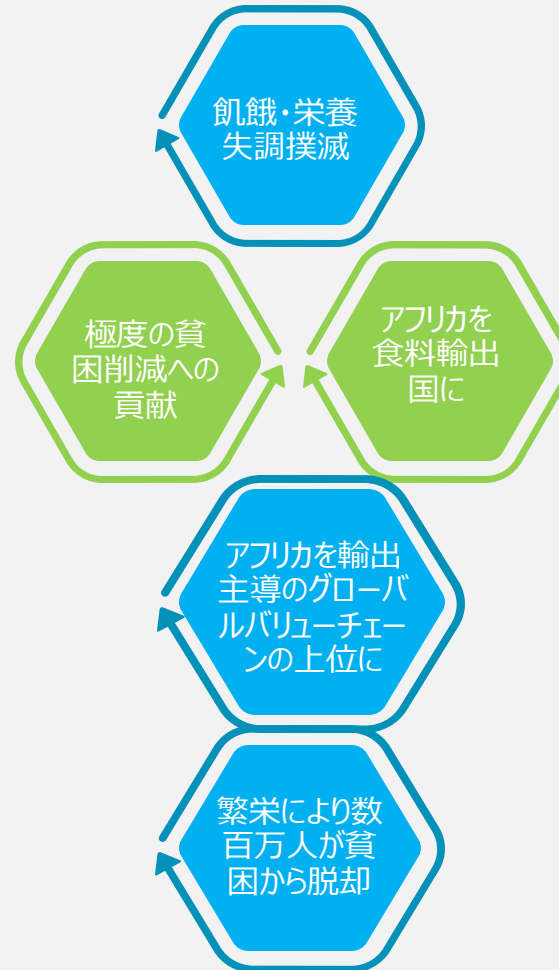
- チョコレートは年間1,000億米ドル以上の収入を生み出すが、アフリカはその2%しか享受していない
- 世界において耕作可能であるが未開墾の土地の60%がアフリカに存在

環境

2019年に南部アフリカを襲った大型の嵐・洪水及びエルニーニョ再来が、農業生産及び東部アフリカの経済成長に影響

天候のショックにより、GDPの2%が損なわれる

包括的目標



2023年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 1,100万人の農民がマイクロ灌漑、肥料、気候変動に強い種子などの改良された投入物を使用
- 3万3,820のアグリビジネス支援
- 971キロメートルの側道を建設・改修
- 5万2,625ヘクタールの土地の水利改善

アフリカの富たる農業の変革は、経済成長、貧困撲滅、食料安全保障の要

農業バリューチェーンの上位へ



2023年の承諾額: 7.87億米ドル

アフリカの農業を、世界的に競争力があり、包摂的（インクルーシブ）かつビジネス志向のセクターに変革

チュニジア - 穀物セクターの包摂的（インクルーシブ）かつ持続可能な開発のためのプロジェクト

プロジェクト総額：1億1,800万米ドル / AfDB融資額：8,700万米ドル
承認：2023年

緊急事態において、穀物サプライチェーンの全てのセグメントに介入することで、食糧安全保障と自給率の向上を目指すプロジェクト。収穫後及び貯蔵時の損失を削減するため、小麦の供給量を確保し、穀物の生産量と生産性を増やし、貯蔵能力の回復と近代化を目指す。また、穀物の鉄道輸送も支援し、最も脆弱な世帯、特に小規模生産者、牧畜民、農牧民を対象として、穀物チェーンの包摂性と外部ショックや気候変動からの回復力を高める。

期待される開発効果：

- ◆ 小麦の国内生産量が25%増加
- ◆ 大麦の国内生産量が30%増加
- ◆ 穀物不純物が3%から0.5%に減少
- ◆ 収穫後の損失が10%から6%に減少

アンゴラ - 農業セクター改革プログラム

プロジェクト総額：1億500万米ドル / AfDB融資額：1億500万米ドル
承認：2023年

より効率的な農業市場へ向けた改革を深化させる一方、公的農業機関のガバナンスと能力を強化し、民間セクターによる農業市場への参画を促すことで、国内における穀物及び油糧種子の増産に貢献するプログラム。

期待される開発効果：

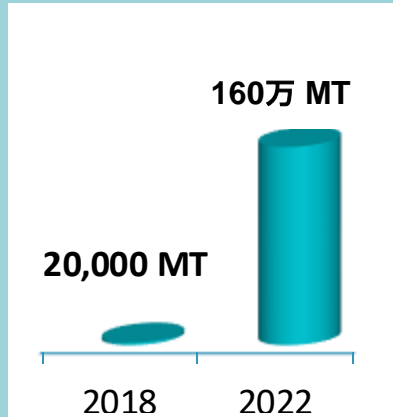
- ◆ 4万2,000人の農民が現代的な農業投入物を利用（50%が女性）
- ◆ 東部地域における持続可能な土地生産面積が3万3,000ヘクタール増加
- ◆ 気候変動に対応した穀物の生産量が300%増加
- ◆ 気候変動に対応した油糧種子が70%増加

エチオピアにおける小麦の成功例

小麦輸入国から小麦輸出国への転換

エチオピア、2022年に小麦自給自足を達成

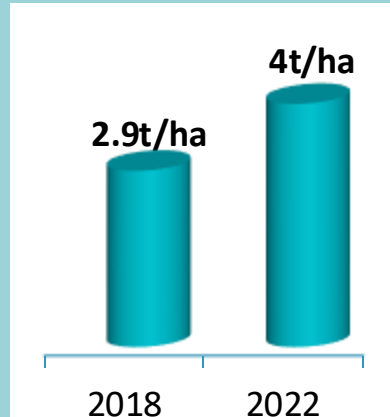
灌漑による小麦生産量が
790%増加



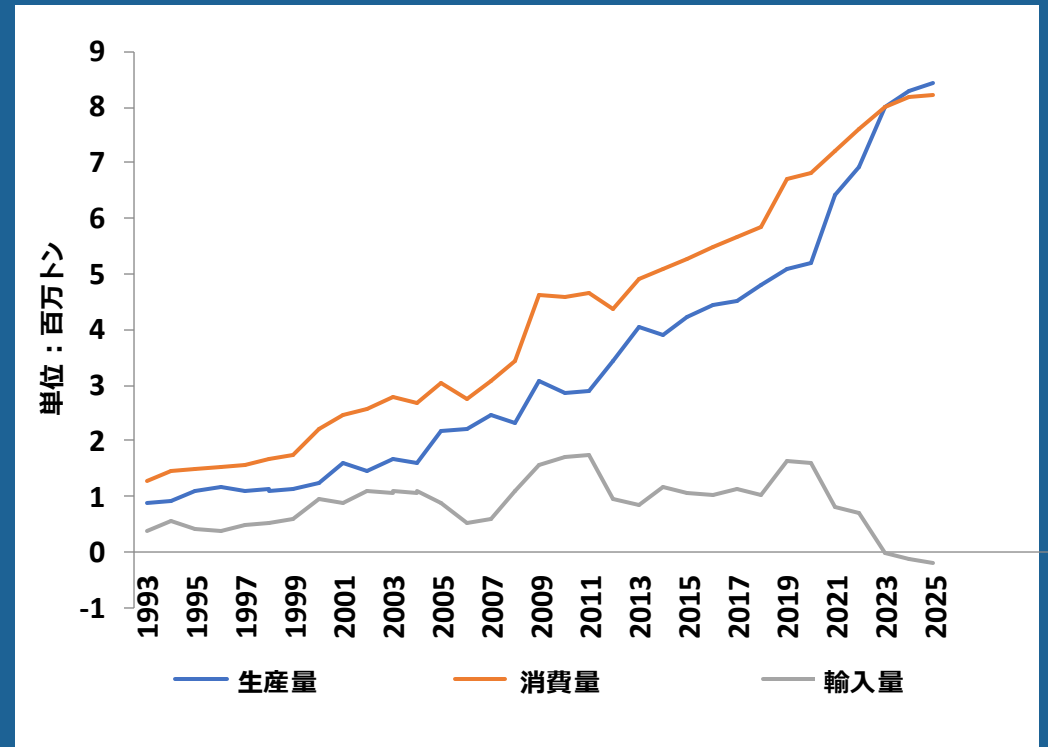
小麦の灌漑地が
790%増加



小麦の生産性が
38%向上



エチオピア、2023年から小麦の輸出を開始



農業はアフリカの食糧供給の維持、SDG2への取り組みにおいて中心的な役割を果たしている

アフリカの工業化を進め、世界の他の地域と連携

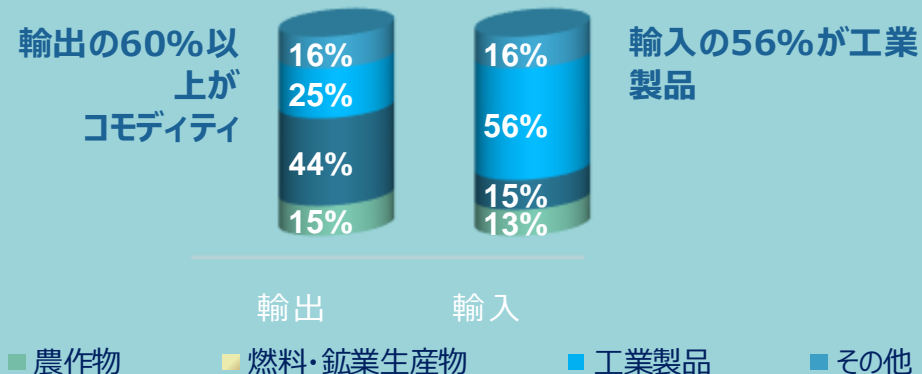


地域間の結びつきや目標達成に向けた政策の強化は、工業化による成長を更に促進



グローバルな競争力を強化

コモディティの輸出、工業製品の輸入



過去10年で工業生産は倍増しているが、その3分の2は、アルジェリア、南アフリカ、ナイジェリア、エジプトでの生産による

アフリカがバリューチェーンの上位に移行できるよう支援

- 工業政策の策定を支援
- インフラ及び工業プロジェクトへの資金調達支援
- 流動性が高く効果的な資本市場の育成
- 中小・零細企業支援
- アフリカにおける戦略的パートナーシップの推進
- アフリカにおける効率的な産業クラスターの形成

アフリカのグローバルな競争力は向上



製造業の振興によりアフリカの雇用と富を守る



現地で加工し、経済多様化を進める



コートジボワール – 多様化・産業化加速・競争力・雇用プログラム

プロジェクト総額：1億7,800万ユーロ / AfDB融資額：1億2,000万ユーロ
承認：2023年

経済の多様化、グリーンランジション、産業発展を促進するための政府の取り組みを強化することを目的としたプログラム。雇用創出に必要な改革や公共財への投資への支援、民間セクターの発展、中小企業や革新的なスタートアップ企業への融資リスクの回避、企業の競争力と輸出の支援、雇用創出を目指す。

期待される開発効果：

- 中小零細企業に4,300万ユーロを融資。うち1,100万ユーロが女性経営企業向け
- 中小企業500社が技術・経営支援を受ける
- 1万人の雇用創出または雇用確保

2023年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 352kmの道路建設、修復、維持管理
- 44万3,510社が資金調達手段による支援を受け、うち53%の企業が女性が経営

タンザニア – タンザニア農業開発銀行（TADB）フェーズII

プロジェクト総額：1億1,000万米ドル / AfDB融資額：6,600万米ドル
承認：2023年

農業セクターにおいて包摂的（インクルーシブ）な資金調達手段を強化し、農業生産性と世帯収入を向上させるために、TADBの資本を強化することを目的としたプロジェクト。その目標は (i) 雇用創出、貧困緩和、生産性の向上、世帯収入の向上を通じた経済成長の促進、(ii) 農企業の効率と競争力の強化、農業バリューチェーンの拡大、資金調達手段を通じた農業セクター融資の強化。

期待される開発効果：

- 農業バリューチェーン事業に従事する世帯の1人当たりのGDPが20%増加
- 2万4,000人の雇用創出
- トウモロコシ、水稻、ヒマワリの生産量が平均50%増加
- 農業バリューチェーンの借主へ1億3,000万米ドルの追加融資
- さらに4万人の女性をTABDが支援

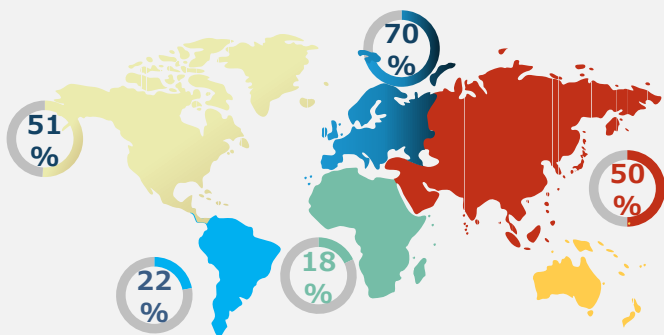
労働力と資本を生産性の高い経済活動にシフト



アフリカを連結し、開発を加速

アフリカ域内貿易と経済協力の新時代を先導

アフリカ域内貿易は低水準



アフリカ域内貿易の障害

- インフラの未整備
- 非関税障壁
- 越境貿易コストが高い
- ビザ開放度が低い

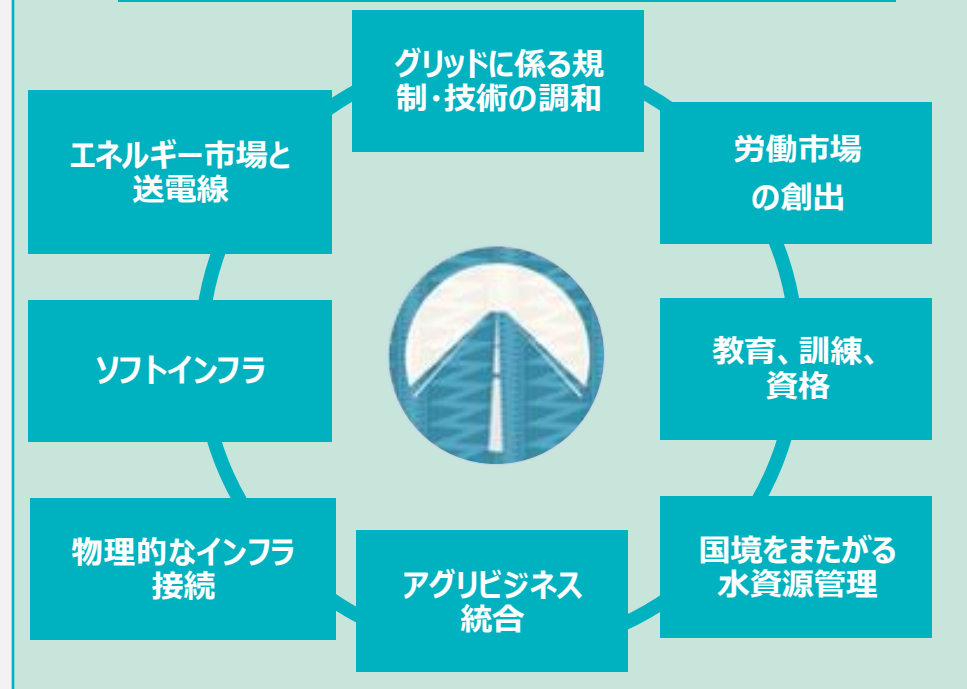
AfDBのビジョンと戦略

インフラ
連結性

貿易・投資

金融統合

High 5s を通じた地域統合



地域統合に対する強い政治的意思



2018年にアフリカ大陸自由貿易協定 (AfCFTA) に調印
- 1つのマイルストーン

世界最大の自由貿易圏

- 54か国が署名 (30か国が批准)
- 自由貿易の拡大促進・非関税障壁の削減
- 今後10年間で域内貿易が25%増加
- GDPが4.5%増加
- グローバルバリューチェーンの中で競争力を強化

AfDBはAfCFTA事務局の設置に
480万米ドルを資金提供



国境をつなぎ、競争力を向上

ナミビア – 輸送インフラ改善プロジェクト フェーズII

プロジェクト総額：2億8,500万ユーロ / AfDB融資額：1億4,800万ユーロ
承認：2023年

鉄道輸送インフラのボトルネックに対処することで、物流バリューチェーンの改善を通じて、ナミビア及びSADEC準地域の貿易競争力を高めるプロジェクト。また、港湾（特にウォルビスベイ港）と内陸部及び近隣諸国とのつながりを促進し、地域物流のハブになるというナミビアの「ビジョン2030」を支援する。

期待される開発効果：

- 32万人が裨益（52%が女性）
- 16の橋が新規建設
- 207kmの鉄道線路が改良
- 500人の雇用創出
- 貨物列車の頻度が2.5倍増加
- ウォルビスベイ・ツメブ間の脱線が年間40%減少

ウガンダ – ムコ・カトゥナ・カムガングジ/ラロピ・モーヨ・アフोज道路プロジェクト

プロジェクト総額：2億9,300万米ドル / AfDB融資額：1億8,000万米ドル
承認：2023年

キゲジ地区とモーヨ地区において、交通アクセスを向上させることで農村部の交通接続を改善し、統合を促進し、それによって、国内及び国境を越えた取引の機会を拡大するプロジェクト。また、収入を増加させ、地域統合を深化させ、取引を促進することが期待される一方、ウガンダ、南スーダン、中央アフリカ共和国を結ぶ代替輸送回廊が開かれる。

期待される開発効果：

- ラロピ・アフोज道路の通行車両が1日当たり759台増加
- 145kmの道路がアスファルト舗装され、修復される
- 越境域内貿易の年間収益が5,500万米ドル増加
- 1,200人の雇用創出
- カトゥナ・ムコ・カムガングジ道路における移動時間を75%削減
- 年間観光客数が1万4,000人増加

2023年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- **350万人**がより良い交通サービスにアクセス
- **163km**の国境を越える道路の建設または修復
- **1,303km**の国境を越える送電線の建設または修復

貿易・輸送の機会を開き、外国投資の更なる誘致を図る

人口潜在力をチャンスに変える



現在のアフリカ

- アフリカ人口の40%が貧困ライン以下で生活*
- 非農業労働人口の72%がインフォーマル（非正規）セクターに従事
- 若者の3分の1が無職
- 毎年1000万人が労働市場に参入

2030年までに…

- 世界で最も貧しい10カ国はアフリカの国
- 世界の貧困層の83%がアフリカ人
- 1億人の若者が無職
- 求職者の50%しか職に就けない

アフリカの労働力をうまく吸収することが、アフリカの人口ボーナスを生み出すカギとなる

2050年までにアフリカの人口は20億人に達する

世界の人口の20%

2030年までに10億人の最大かつ最も若い労働人口

AfDBの戦略

- 若者向けの就業機会を創出することにより、非正規移民の発生を減らす
- 第4次産業革命を活用し、科学技術分野で若者のスキルアップを図る
- 水・衛生へのアクセスの改善
- 保健システムの強化



人口の72%が安全な飲料水にアクセス可能

人口の40%が衛生設備を利用可能

*1日2米ドル未満で生活

若年人口はアフリカ最大の財産



将来の課題に備える

ルワンダ – 変革的かつ持続可能な水・衛生プログラム、フェーズ I
プロジェクト総額：2億7,400万米ドル / AfDB融資額：2億米ドル
承認：2023年

ルワンダの対象地区において、新たに230万人を対象に給水へのアクセスを改善し、38万人を対象に基本的な衛生サービスへのアクセスを改善することを目的としたプログラム。また、水資源管理を強化し、給水・衛生サービス提供者の業務能力を改善し、国民の気候変動からの回復力を強化する。

期待される開発効果：

- 新たに230万人が清潔な飲料水へアクセスできる
- 基本的な衛生サービスへのアクセスが15%増加
- 1,184kmの配水網が建設
- 3万4,000人の雇用創出
- 4棟の水処理工場が建設
- 507人の水セクター職員を研修

2023年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- **900万人**が水・衛生設備へ新たにアクセス、又はアクセス改善
- **280万人**がより良い保健サービスにアクセス。うち**130万人**が女性
- **100万人**がAfDB業務を通じて研修を受ける。うち**46万1,671人**は女性



将来への備え

モロッコ – 保健インフラへの包摂的（インクルーシブ）なアクセス支援プログラム

プロジェクト総額：29億ユーロ / AfDB融資額：1億2,000万ユーロ
承認：2023年

質の高い保健サービスへのアクセス向上を通じて、モロッコ人、特に女性を含む社会的弱者や、農村部又は僻地住民の生活環境改善に貢献することを目的としたプログラム。また、保健インフラへのアクセスにおける格差を是正し、より良い保健サービス提供のための革新的な解決策によって接続性を改善し、人材及び財源の配分を改善することで、ガバナンスを強化する。

期待される開発効果：

- 内陸地域の100地点に、遠隔医療/遠隔診療施設を設置
- 対象地域で救急車20台を調達
- 選定された病院の医療機器を強化/更新するための200の機器
- 病院2棟の新規建設と設備設置
- 移動式保健ユニットを使用した3万2,800回の回診
- 1万9,102人が看護・保健技術高等学院（Higher Institute of Nursing and Health Technology）を卒業

女性のエンパワーメントを通じてSDGsを達成



アフリカの女性のためのアファーマティブ・ファイナンス・アクション (AFAWA) は女性中小企業支援のために2026年までに50億米ドルの資金確保を目指す

複数国 - ETCグループ限定の貿易・農業金融ファシリティを2021年に承認

AFAWA技術支援無償資金 200万米ドル
タンザニア、モザンビーク、ザンビアの女性農民と起業家向けに、農業バリューチェーンに即したビジネス能力を向上させ、金融へのアクセスの改善を支援

AFAWA リスク分担メカニズム

1億2600万ドルのAFAWA成長保証 (G4G) を788人の女性起業家に融資、女性経営者向け最大30億ドルの金融機関による融資意欲を促進

女性起業家支援プログラム

- 10の女性ビジネス協会の能力強化
- 26カ国において16,000人の女性にインパクト

アフリカの潜在成長力は十分に生かされていない



AfDBグループのジェンダー戦略2021-2025



金融と市場へのアクセスを通じた女性のエンパワーメント



スキルアップを通じた女性の雇用と機会創出の促進



インフラを通じた女性の社会サービスへのアクセス向上

AfDBの事業におけるジェンダー主流化をシステム化



2023年 全ソブリン事業はGMSによる審査を受けた



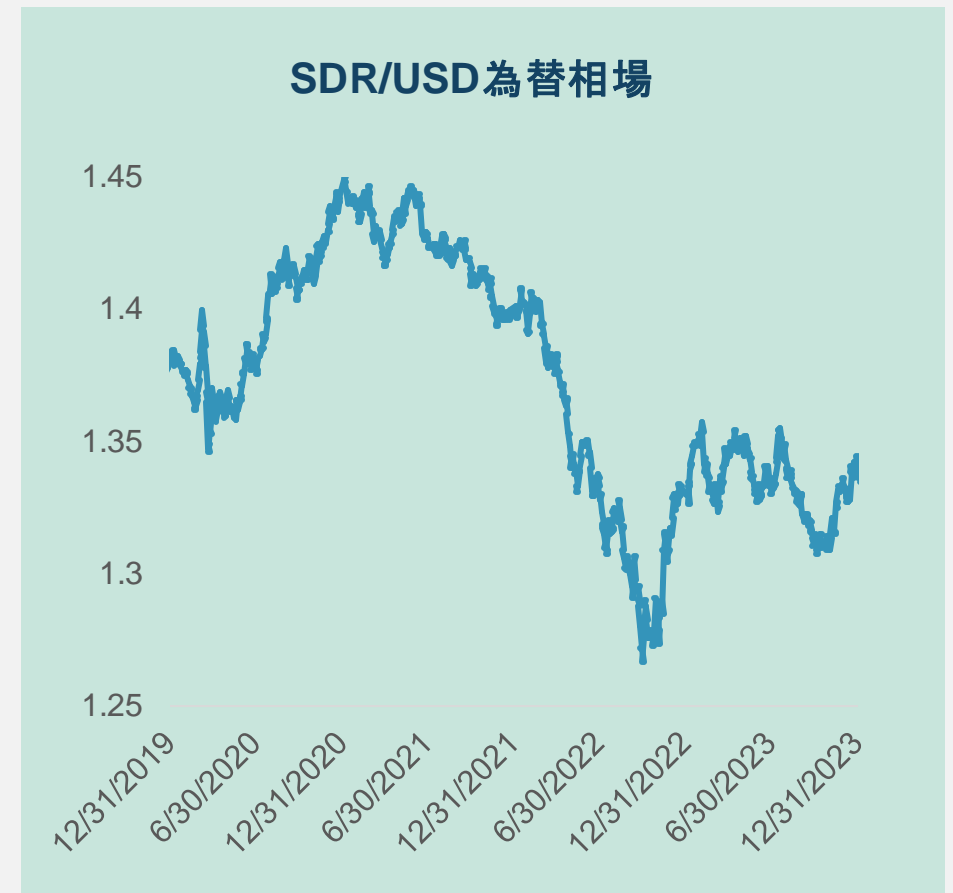
AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

アフリカ開発銀行の 財務状況



財務情報の概要

(100万米ドル)	2019	2020	2021	2022	2023
資産	48,736	50,912	50,840	50,866	52,955
ローン	27,409	30,024	28,135	27,542	29,546
投資	14,274	12,712	13,707	15,588	16,613
現金	2,949	3,359	4,623	3,767	1,856
借入金	35,216	36,137	35,151	32,278	33,242
資本	10,197	11,221	12,185	13,152	14,509
払込済資本*	6,329	7,105	7,774	8,267	9,123
準備金	3,868	4,116	4,410	4,885	5,386
分配前所得	174	286	135	318	545
引受済資本	91,469	145,246	207,801	197,987	198,719



* 払込資本毎の為替調整後の金額を累積で純計

** 未監査の数値

注記: 報告通貨はIMFの特別引出権 (SDR: Special Drawing Rights)。データは期末時の為替レートで米ドルに換算したものの
 USD/SDR:1.38283 (2019); 1.44027 (2020); 1.39958 (2021) ; 1,33084 (2022); 1.34167 (2023)

AfDBのAAA、開発の原動力



- 債券投資家にとって重要な投資の原動力
- 世界の資本市場で動員される費用対効果の高い資金源
- クライアントにとっても魅力的かつ持続可能な融資のプライシングを提供

STANDARD & POOR'S

「AfDBの優先的に弁済を受ける債権者としての地位は強固なものであることが証明された。この3年間、AfDBの経営陣は資本の蓄積と、バランスシートを最適化する戦略の実施に注力することに成功した。」

2023年6月

MOODY'S

「ムーディーズは、AfDBの株主の支援を提供する能力と意欲は非常に高いと見ており、これはAfDBに備わっている財務力を高めるものである。」

2023年10月

FitchRatings

「AfDBの流動性評価『aaa』は、AfDBの優れた流動性バッファー、流動資産の質の高さ、資本市場へのアクセスを反映している。」

2023年7月

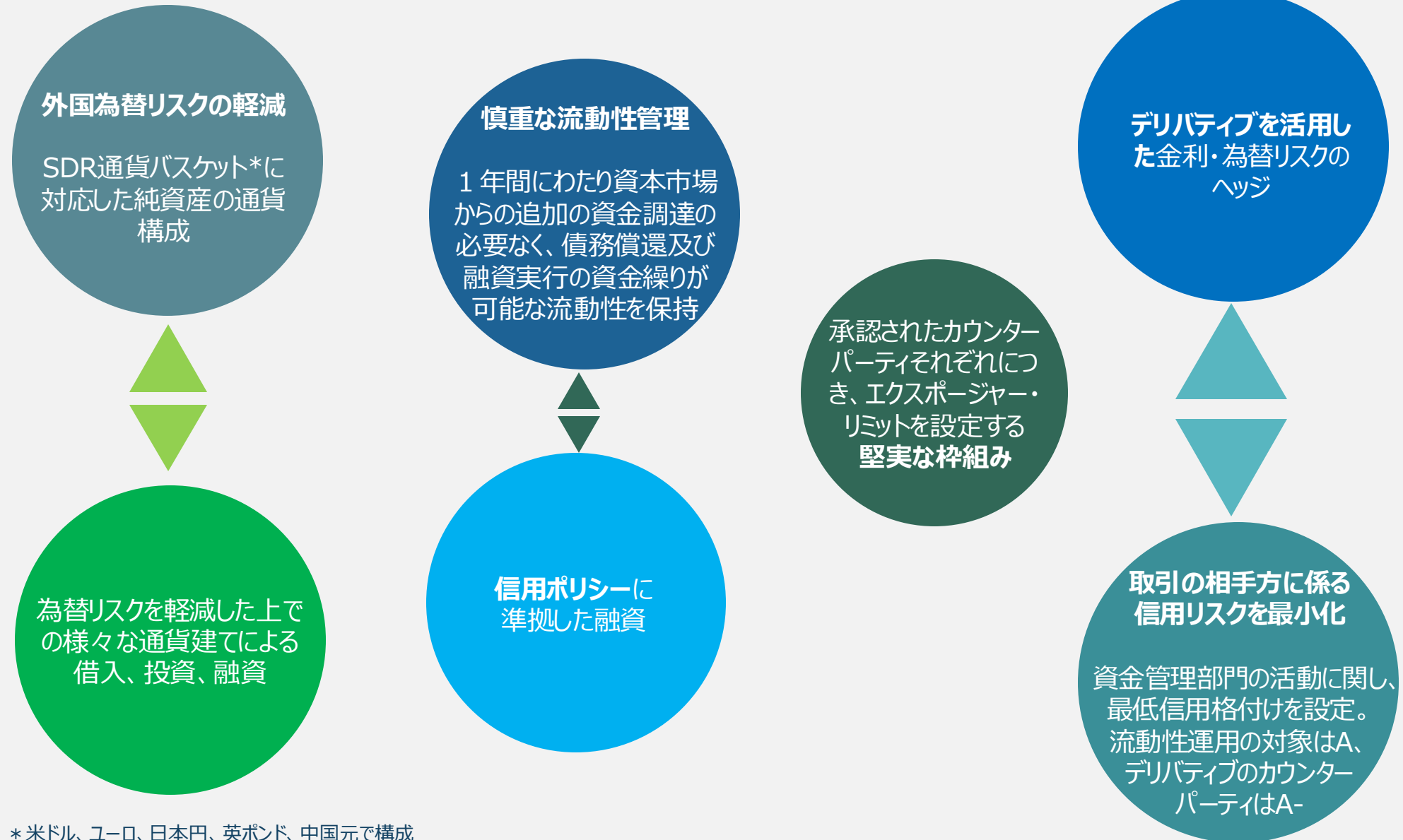
JCR

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

「この格付けは、AfDBが地域及び非地域の加盟国から得る堅固な支援、堅固な財務基盤、慎重な財務・リスク管理ポリシー、『優先的に弁済を受ける債権者』としての地位を主に反映している。」

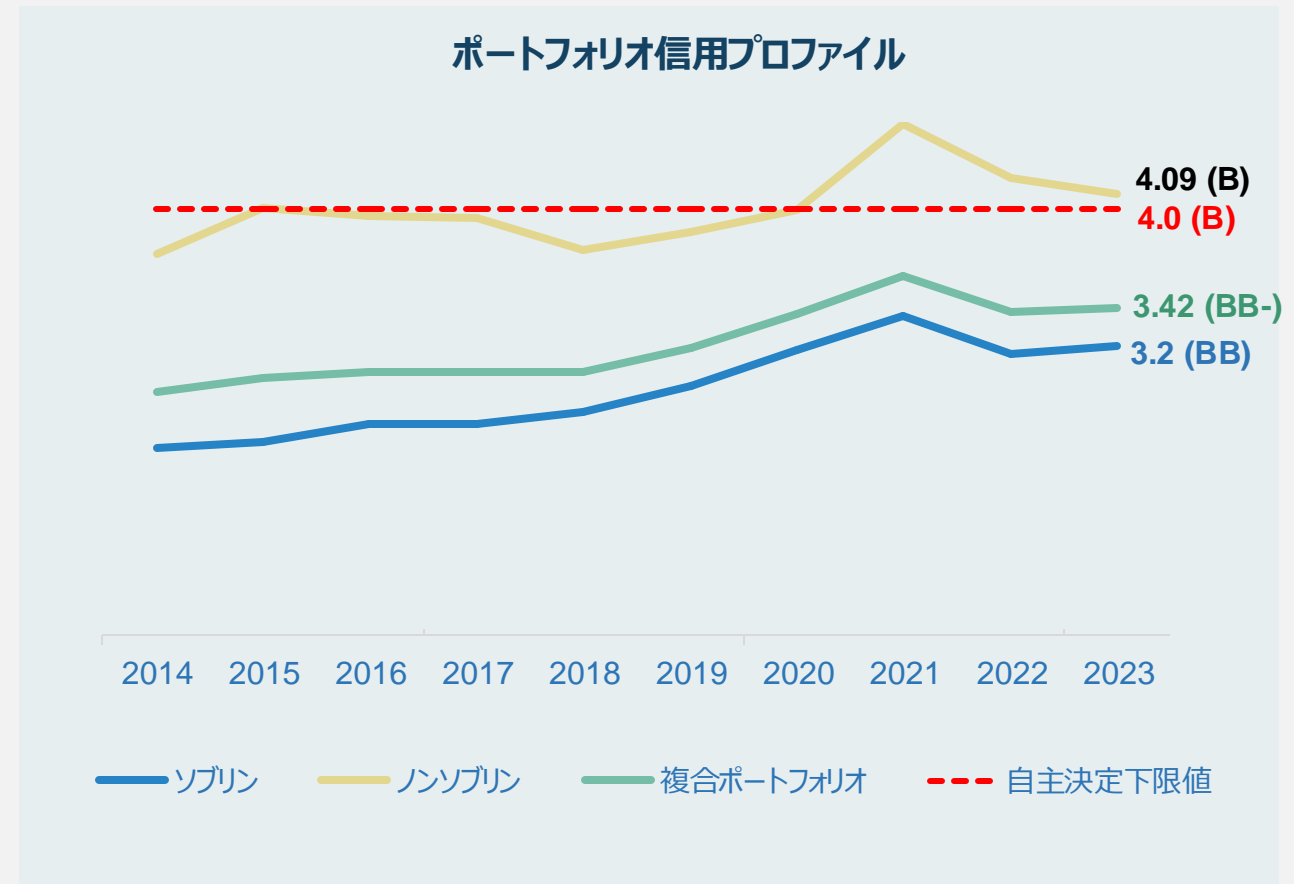
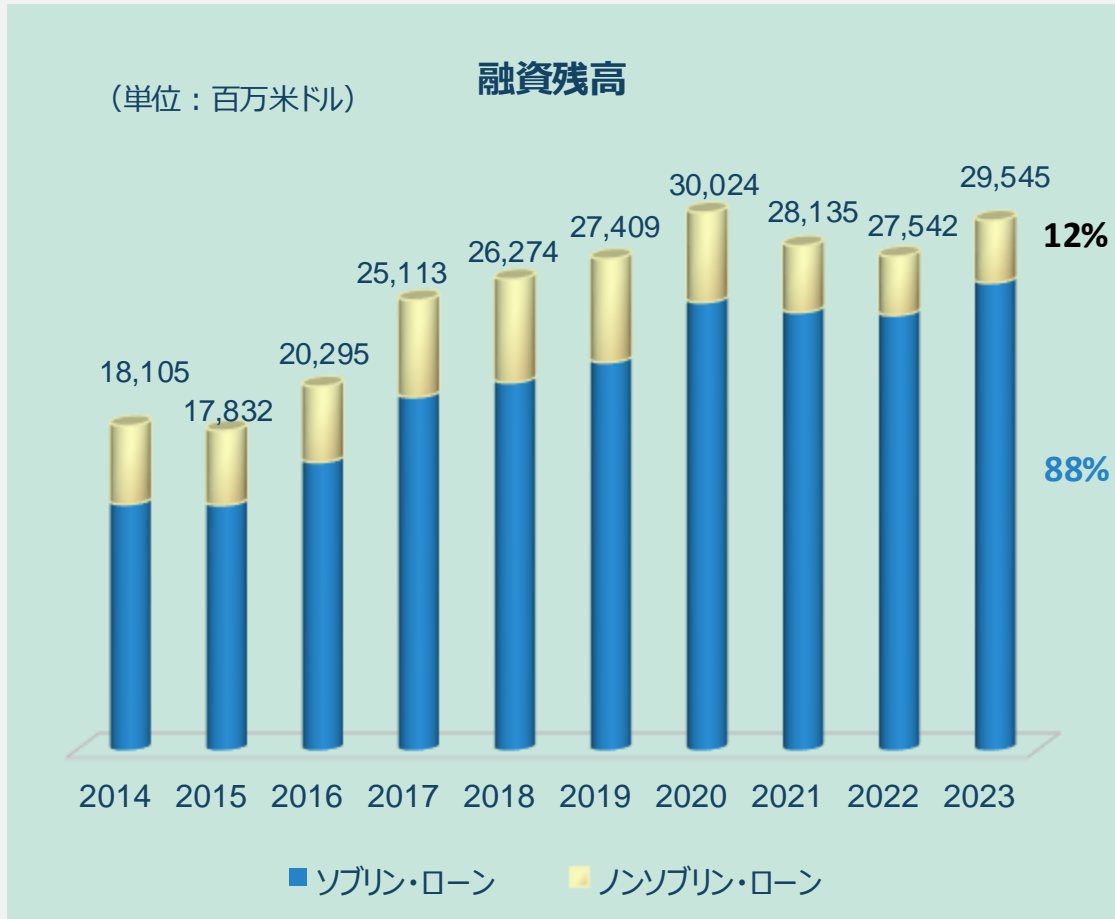
2023年10月

高格付に合致した慎重なリスク管理ポリシー



*米ドル、ユーロ、日本円、英ポンド、中国元で構成

アフリカの変革を支えるための融資



加重平均リスク格付け（WARR）が、AfDBの目標範囲である3（BB）及び4（B）以内であること

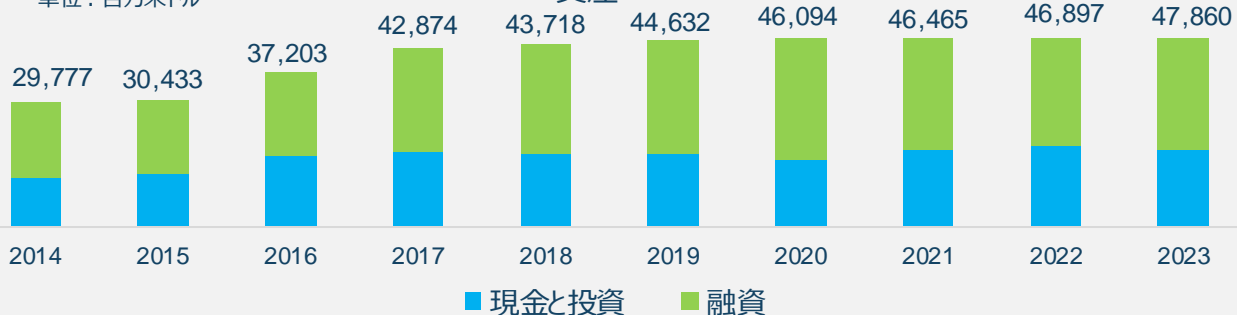
AfDBのリスク選好に沿ったリスク・プロフィールを維持・持続しつつ融資拡大

AfDBの開発使命のための資金調達に資本を活用

バランスシートをアフリカに役立てる

単位：百万米ドル

資産

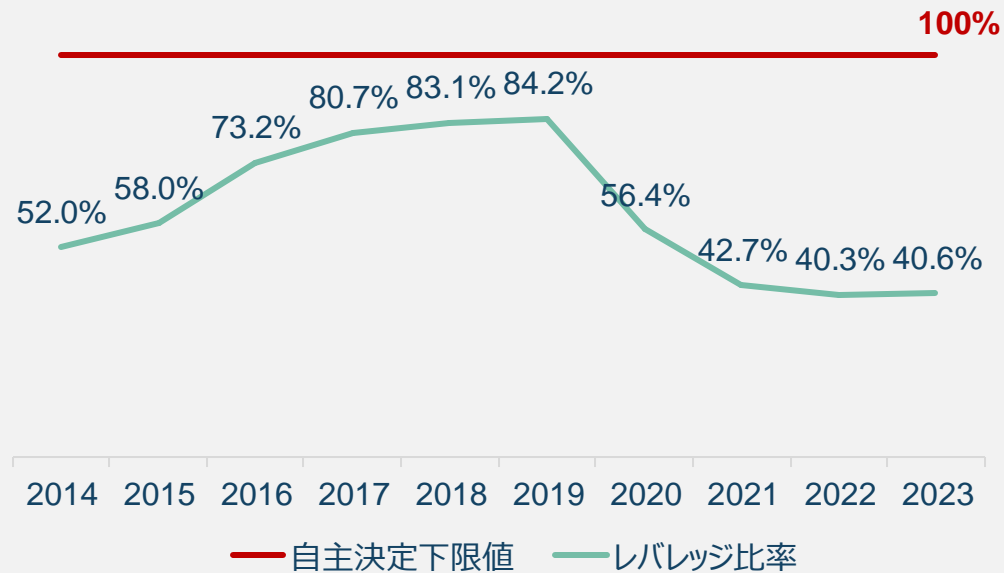
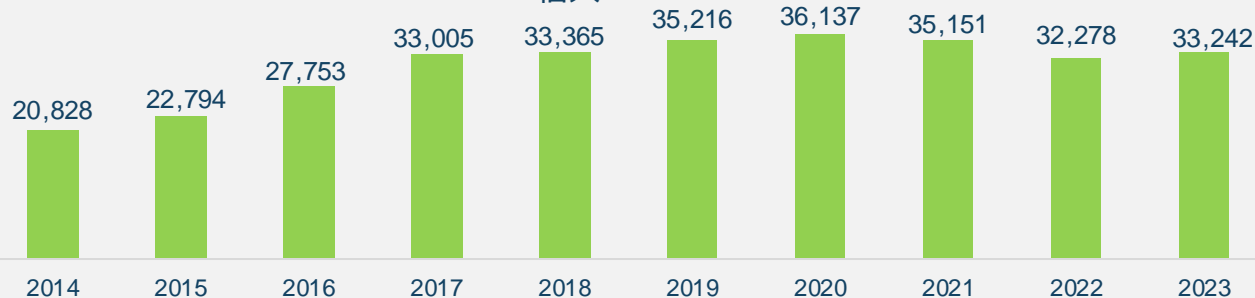


レバレッジ = 負債 / 利用可能資本

利用可能資本 = Σ (払込済資本、準備金、格付がA-以上の非借入加盟国の請求払い資本)

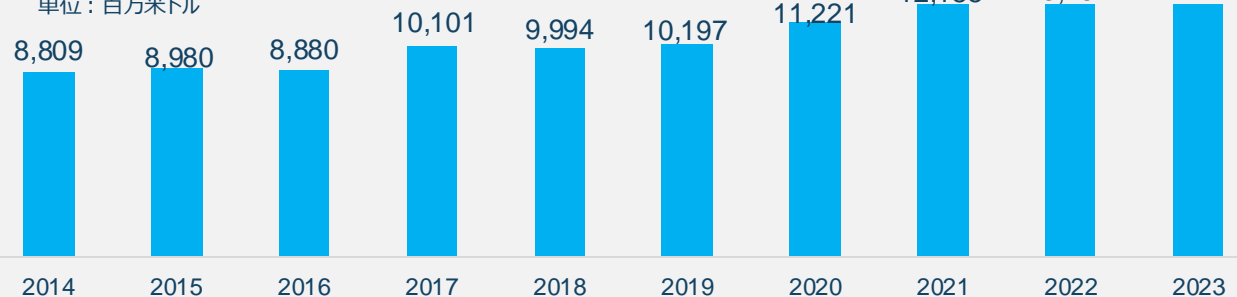
単位：百万米ドル

借入



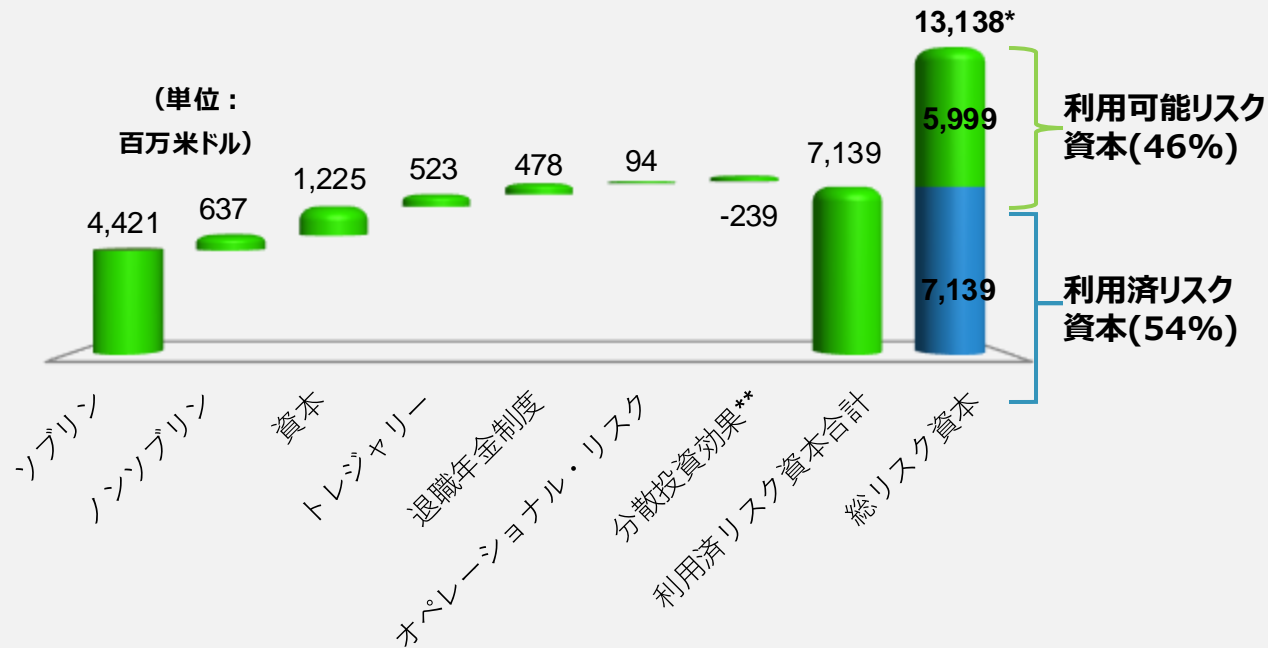
単位：百万米ドル

出資



資本を活用してアフリカで効率的に事業を実施

各種エクスポージャー及びエクスポージャー額に牽引されるAfDB のリスク資本利用状況



リスク資本 =
払込済資本 + 準備金 + 調整金

リスク資本利用率 = $\frac{\sum [\text{エクスポージャー}] * [\text{リスク資本負担}]}{\text{総リスク資本}}$

2023年RCURの改善要因：

- AfDB資本の13億米ドル増
 - 払込済資本8億米ドル
 - 準備金5億米ドル
- 2023年7月にアジア開発銀行と締結したエクスポージャーの交換に関する契約

(2023年12月31日時点)

*株式投資・借入評価調整後総リスク資本

**分散投資効果はリスク間の相関関係から生じる

MDBコミュニティ内ハイブリッドキャピタル導入の先駆者

ハイブリッドキャピタルは株主資本を補完する

- IFRSに基づき100%が資本として計上される
- 100%がAfDBの内部資本適合性基準で計上される
- フィッチ、ムーディーズ、S&P*が資本として認めた100%の想定元本

* S&Pはハイブリッドキャピタルを中間資本内容として評価した。これは、調整後普通株式 (ACE) の33%まで、手形を調整後資本合計 (TAC) に全て含むことを意味する。

サステナブルハイブリッドキャピタルの活用

- ハイブリッドキャピタルは、1米ドルの調達ごとに、少なくとも2米ドルの追加融資を可能にすることが見込まれている
- 環境及び/又は社会事業への出資に向けた追加融資能力
- AfDB枠組み下で発行

国際機関発行の初のハイブリッドキャピタル

AA- (S&P) /
Aa3 (ムーディーズ)

払込済資本向けのみの最劣後シニア債

潜在的リスク

- 任意のクーポン消却
- 強制的なクーポン消却：トリガーは総資産/(払込済資本+準備金) > 7.5倍
- AfDBが資本の払込請求を行った場合、元本は恒久的に評価減となる
- エクステンション・リスク



“ベスト国際機関債”



“最も革新的なSSA発行体”



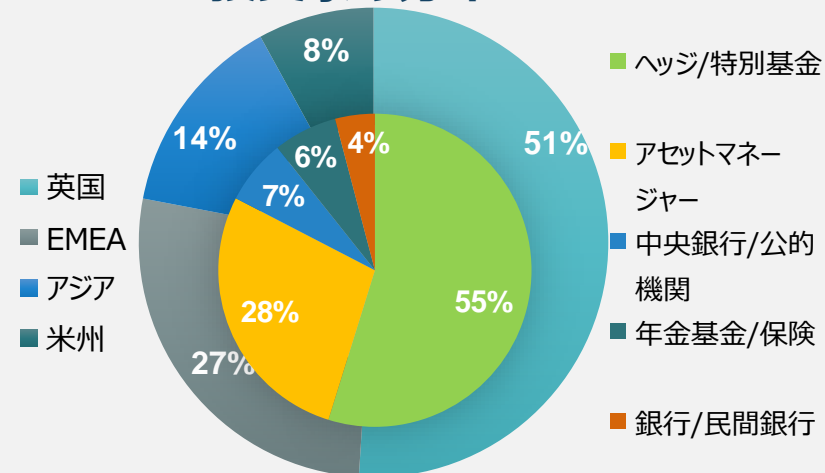
“年間最優秀開発金融機関 (DFI) ”

2024年1月に最初の取引が開始

7億5,000万米ドル
5.75%
PerpNC10.5
サステナブルハイブリッドキャピタル
UST +
157.5bps

- 最高品質できめ細かなオーダーブックは過去最高の51億米ドルに到達 (6.8倍のオーバーサブスクライブ)
- 需要ピーク時には60億米ドル
- 275の投資家が参加 (うち190は分配済み)
- 良好な流通市場パフォーマンス (翌日、20bpsの引き締め)

投資家の分布



High 5sのための資本の再配置における革新

AfDBの影響力を高めるため バランスシートの最適化

アジア開発銀行との10億米ドルのエクスポージャー交換 – 2023年7月承認

- 高リスク国及び準高リスク国を含めて、ソブリン融資のため追加的なヘッドルームを創設する
- 準高リスク国の将来の格下げに対するバッファーとヘッジを行う一方、AfDBの資本指標を改善し、集中度の高い地域において、ソブリン・ポートフォリオのエクスポージャーを削減する

南アフリカにおける「公正なエネルギー移行」を支援するため、 外務・英連邦・開発省（FCDO）による10億米ドルの保証 – 2023年12月承認済み

- 南アフリカの「公正なエネルギー移行」支援における融資ポートフォリオの強化
- ムプマランガ州及び同国全体における再生可能エネルギー、エネルギー効率、グリーン水素、新型電気自動車、「公正なエネルギー移行」活動のプロジェクトを支援

AfDB及びAIIBの部分信用保証（PCGs）がアフリカ初のサステナビリティ・パンダ債の発行を支援

- グリーン及びソーシャルプロジェクトに融資するため、エジプト初の35億人民元の3年物のサステナビリティ・パンダ債の発行を促進した
- エジプト初のサステナビリティ・パンダ債の発行が、AfDB（63%）及びAIIB（37%）によって全額保証される

ベネチアのSDG資金調達のためのPCG

- ナンの3億5,000万ユーロの12年ローンへのアクセスを支援するため、ADFが1億9,500万ユーロのPCGを提供した
- ADFによるファースト・ロス保証
- アフリカ共同保証プラットフォームの下、アフリカ貿易投資開発保険（ATIDI）からのセカンド・ロス保険

顧客のニーズを満たす ための資金調達

コートジボワール向けのESG融資に4億ユーロのPCG


- コートジボワール向けの15年物の5億3,300万ユーロのESGファシリティをPCGでカバー
- アフリカ共同保証プラットフォームの下、元本の不払いリスクを日割り計算でカバーするためのイスラム投資・輸出保険機関（ICIEC）による信用保険1億9,400万ユーロ


ローンの組成時にAfDBが保険会社の能力を確保


- 保険ブローカーが主導する5,000万米ドルの西部アフリカ製造業向け取引の取引組成時における保険参加
- 内部の国別融資限度額にかかわらず、AfDBが必要な融資額を承認できるようにするため、取引は営利保険会社3社でサポートされた


パートナーからの資金動員により 開発業務にレバレッジをかける

信託基金


 カナダ・AfDB気候ファンド
1億3,300万カナダドル


 アフリカの持続可能エネルギー基金 (SEFA)
4億6,700万米ドル

 アフリカ水ファシリティ
1億8,400万ユーロ


 アフリカ民間セクター向け支援基金 (FAPA)
1億2,100万米ドル


共同融資協定

 独立行政法人
国際協力機構 (JICA)
40億米ドル


 フランス開発庁 (AFD)
20億ユーロ

 欧州委員会
10億ユーロ
(承認済)

 韓国アフリカ・エネルギー投資枠組
6億米ドル

 中国人民銀行 (アフリカ
共同成長基金
AGTF)
20億米ドル

覚書 (MOU)

 イスラム開発銀行
20億米ドル

 OPEC基金

 中国EXIM BANK

 マイクロソフト

団結してより大きなインパクトを生み出す

オーダーメイドオプション

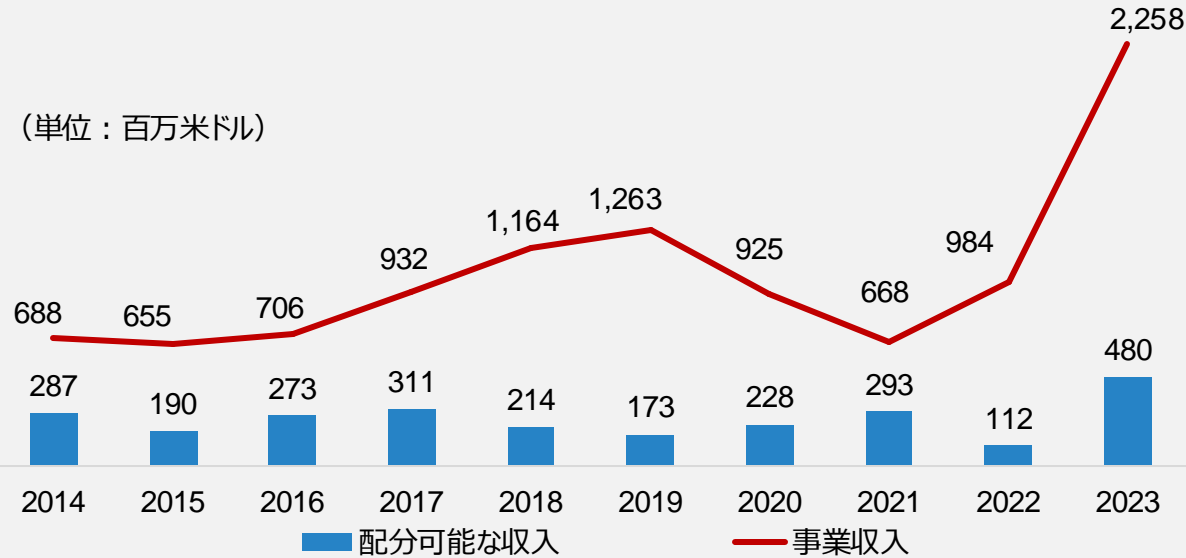
- ADF
- 信託証書 (信託基金、特別基金、プロジェクトに特化したビークル)
- 枠組み協定 (共同融資協定を含む)
- 混合金融
- シンジケート団を通じたものを含む民間セクターの動員
- サステナブルハイブリッドキャピタル
- 金融受託手続き契約 (FFPA)

パートナー

- 二国間及び多国間の開発機関
- MDBs
- 国連機関
- 慈善団体及び財団
- 民間セクター

堅調な財務実績を持つ堅固な機関

(単位：百万米ドル)



分配可能な収入：AfDBの純利益から配分に利用可能な部分。分配可能な収入からまず準備金へと充当される

事業収入：貸付及び投資（デリバティブに関連するものを含む）

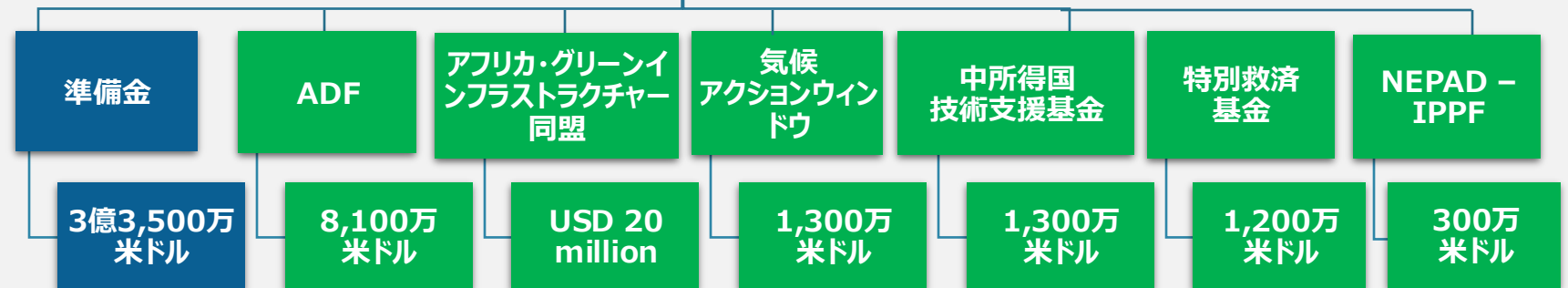
純利益は以下の要因によって、2023年の5億4,500万米ドルから2022年の3億2,100万米ドルへと70%増加した。

- その他の営業費用の減少
- 保険数理評価引当金及び予想信用損失引当金の減少
- 受取利息の増加（借入費用の増加により一部相殺）
- トレジャーリー・トレーディング・ポートフォリオの公正価値評価益

2014年以降の純利益配分



2023年の分配可能な収入の移転

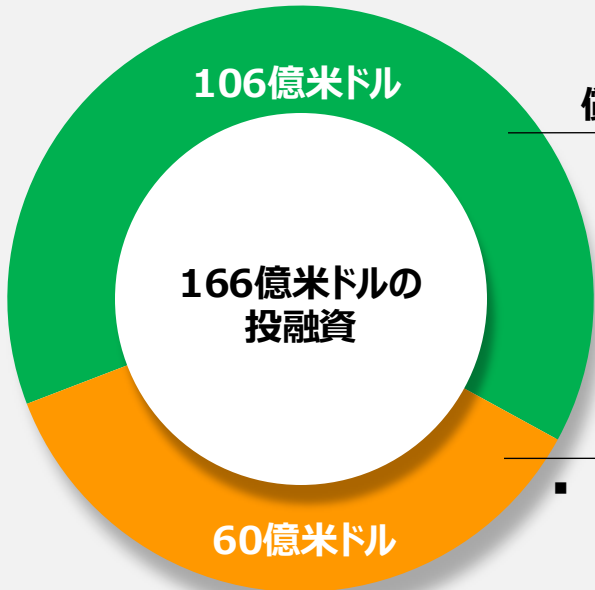
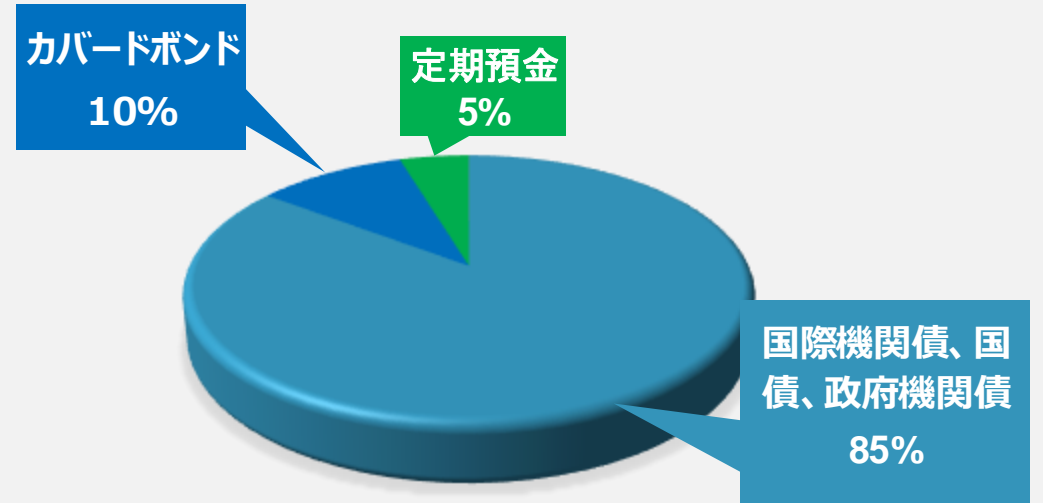


質の高い資産に投資されるAfDBの流動性



1年間にわたり資本市場から追加の資金調達が必要なく、債務償還及び融資実行の資金繰りが可能な流動性を保持

目標達成のための保守的なポートフォリオ構成



償却原価で保有

- 純金利マージンの安定化

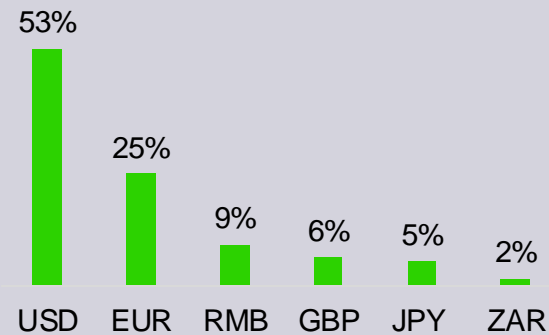
トレーディング*

- 短期・中期のキャッシュフローニーズ

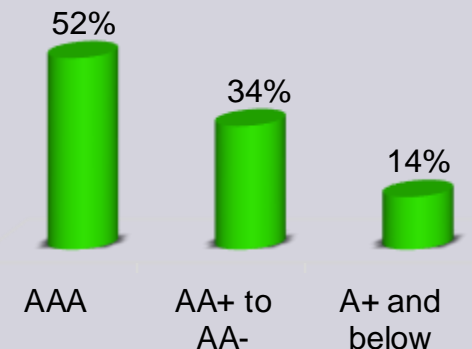
*現金とデリバティブを除く

(2023年12月31日時点)

多通貨ポートフォリオ



非常に質の高いポートフォリオ





AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

資本市場における取組み



AAA格付をレバレッジにアフリカの開発ニーズを満たす

世界中の様々な市場及び通貨による多様な資金調達プロフィール



借入残高
330億米ドル

(2023年12月31日時点)

借入プログラム



* 2024年6月時点で61%を執行

流動性の高いグローバル
ベンチマーク債の発行に
おいて高い実績を保持

グローバルな投資家層
の深化と拡大

ESG投資家の
ニーズに対応

アフリカの資本市場を
振興

アフリカの利益のため、競争力の高い資金レベルを呼び込む

米ドルグローバルベンチマーク債、AfDB融資戦略の要

2023年3月

2023年11月

2024年1月



20億米ドル
4.375%
グローバルベンチマ
ーク債
2028年3月償還
UST +14.3 bps
MS +33 bps



20億米ドル
4.625%
グローバルベンチマ
ーク債
2027年1月償還
UST + 12.1 bps
MS + 36 bps



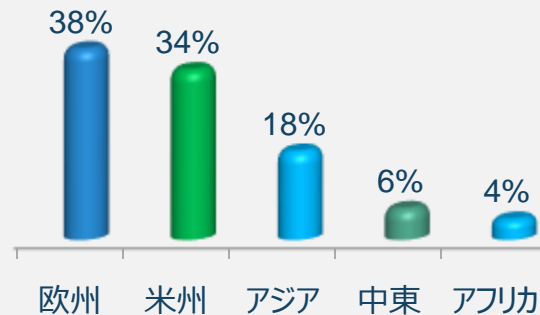
20億米ドル
4.125%
ソーシャルベンチマ
ーク債
2027年2月償還
UST +10.3
bps
MS +31 bps

コンバインド・オーダーブック

- 102億米ドル
- 239のオーダー
- 31の新規投資家

- 強固なファンダメンタルズとAAA格付
- 質の高いオーダーブック
- 質の高い入札結果
- 良好な流通市場パフォーマンス
- 強固な開発マンドート

…深化・拡大しつつある投資家基盤



中央銀行・公的機関

49%



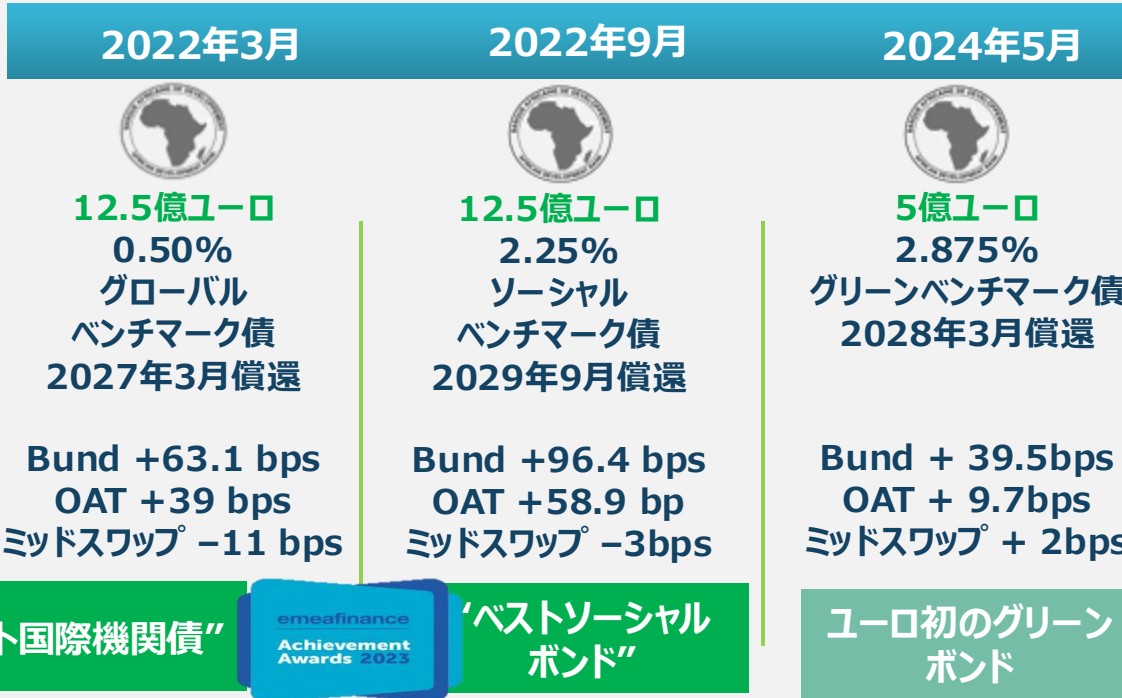
アセットマネジャー

15%

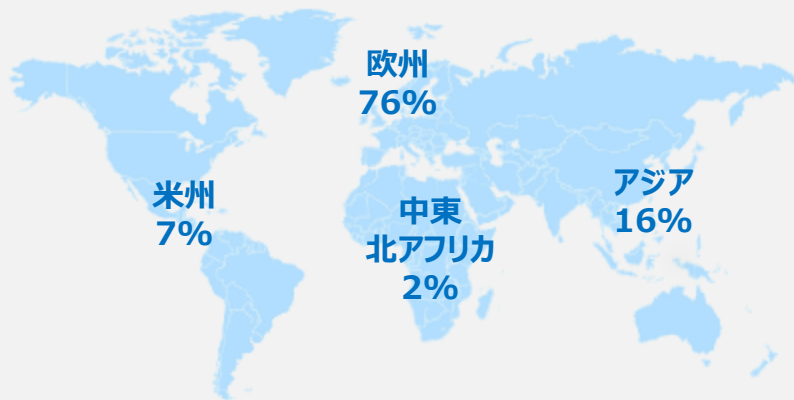
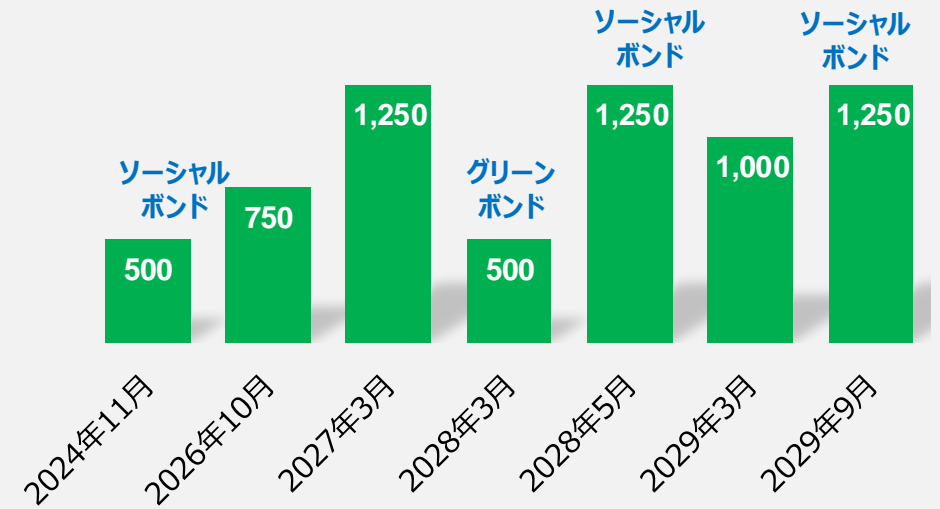
銀行トレジャリー

36%

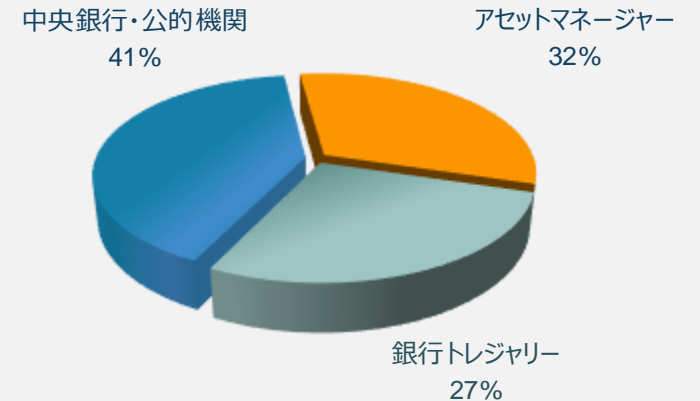
ユーロ債発行、2016年以降カーブを描く



約65億ユーロのグローバルベンチマーク債
(100万ユーロ)



AfDBの新規投資家の分散



欧州市場における投資家層の拡大

2023年6月

2023年7月

1億スイスフラン
1.603%
固定利付債
2028年7月償還



14年ぶりにスイスフラン市場に
復帰



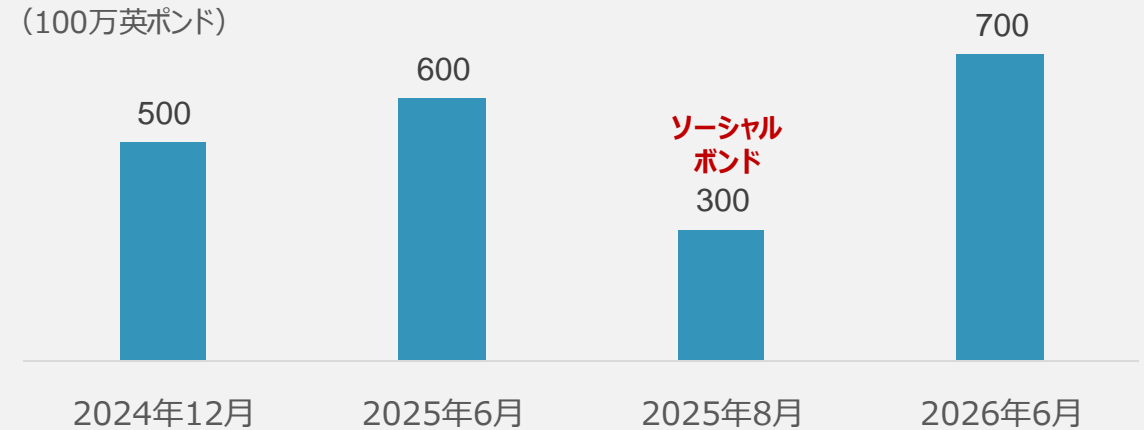
“ベストCHFボンド”

3億英ポンド
5.5%
ソーシャルベンチマーク債
2025年8月償還
UKT + 65 bps

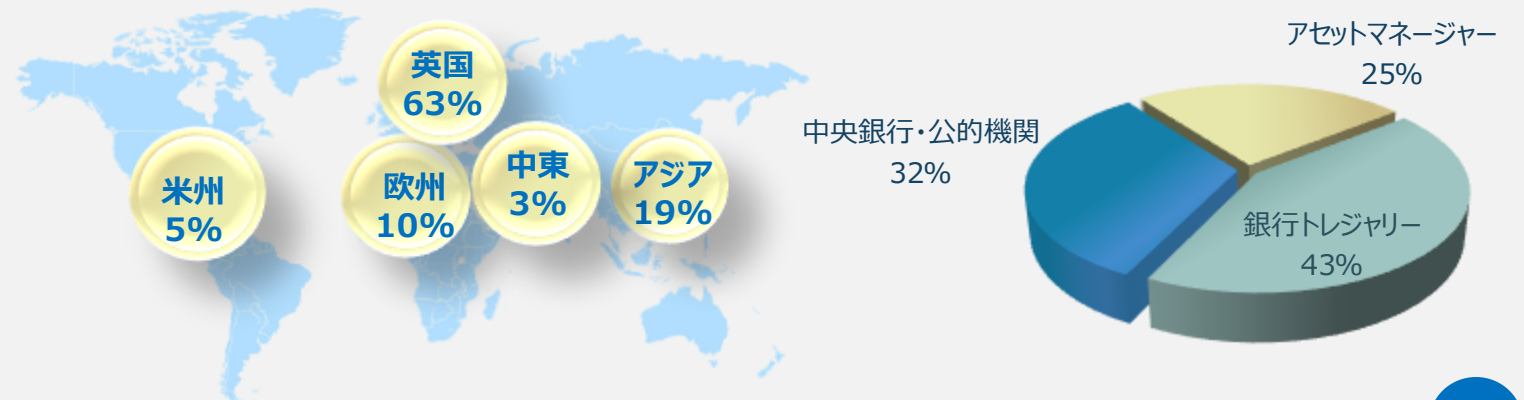


14年ぶりにスイスフラン市場に
復帰

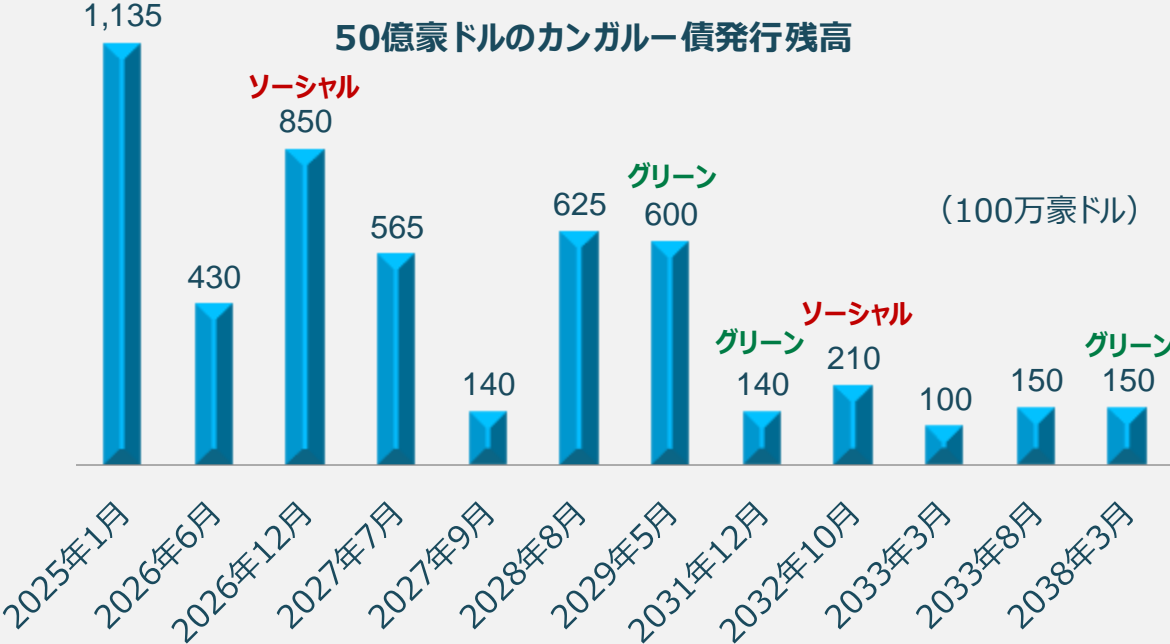
20億英ポンド超のベンチマーク債



英ポンド市場における投資家の内訳



費用効率の適切な資金提供を求めて



2024年2月	2024年3月	2024年4月
6億豪ドル グリーンカンガルー債 2029年5月償還	5,500万豪ドル ソーシャルカンガルー債 2032年10月償還_Tap	2億5,000万豪ドル ソーシャルカンガルー債 2026年12月償還_Tap
BBSW +46bps	BBSW +49bps	BBSW +27bps

2023年
15億米ドルの私募債及び
売出債発行借入の
22%

2024年の私募債発行事例



サステナブル・グリーン

2013年以降、42億米ドルのグリーンボンドを発行

2023年
15億スウェーデン・
クローナ
5年グリーンボンド
2028年1月償還



2023年
1.5億豪ドル
15年グリーンボンド
2038年3月償還



2023年
1.5億豪ドル
15年グリーンボンド
2038年3月償還



2023年
10億スウェーデン・
クローナ
4年グリーンボンド
2027年11月償還



2024年
6億豪ドル
5年グリーンボンド
2029年5月償還



2024年
5億ユーロ
4年グリーンベンチマーク
2028年3月償還



“ベストNOK
ボンド”



サステナブルボンド
枠組み初のグリーン
ボンド発行

ユーロ市場初の
グリーンボンド

- 再生可能エネルギー
- 持続可能なモビリティ
- エネルギー効率
- 生物天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理
- 持続可能な上下水道管理

社会的責任投資家

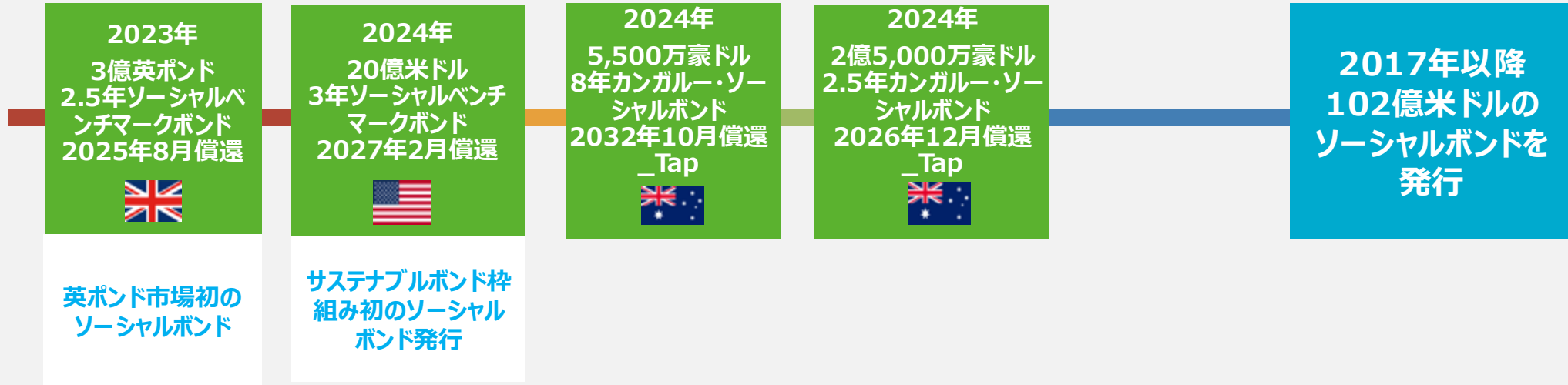
アファーマティブIM、アライアンス・バーンスタイン、アムンディ、AP2、AP3、AP4、AP7、APG、ブラックロック、ブラウン・アドバイザー、カリフォルニア州教職員退職年金基金、カルバートIM、シカゴ市、ノルウェー地方金融公社、ノルデアIM、PGGM、ピクテAM、プラクセス・インパクト基金、SEB AM、ソニー銀行、ストアブランド、Syntrus Achmea、大樹生命、TIAA-CREF、トリウムAM、チュールヒ保険



4,300万トンのCO₂ 排出削減へのAfDBグリーンボンドによる貢献 (2023年12月31日時点)

実施国	グリーンプロジェクト事例
エジプト	エジプト国有鉄道近代化プロジェクト
ガボン	キングレ・アバル水力発電プロジェクト
コートジボワール	アビジャン自治区における衛生・生活環境改善プロジェクト
南アフリカ	レッドストーン100MW 集光型太陽光発電プロジェクト
複数国	カメルーン・チャド間の電力接続プロジェクト（カメルーンコンポーネント）

包摂的（インクルーシブ）な成長への インパクトあるファイナンス



貧困削減のための具体的活動

- 手頃な価格の基本インフラ
- 必要不可欠なサービスへのアクセス
- 食糧安全保障と持続可能な食料システム
- 雇用創出と中小企業金融やマイクロファイナンスを含めた、社会経済危機に起因する失業の防止・緩和を目的としたプログラム
- 社会経済的向上とエンパワーメント

実施国	ソーシャルプロジェクト事例
エジプト	電力・グリーン成長支援プログラムⅡ
ナイジェリア	ナイジェリア都市給水セクター改革及びアクレ給水・衛生プロジェクト
コートジボワール	北部農産業拠点整備プロジェクト
モロッコ	農村地域における包摂的（インクルーシブ）かつ持続可能な開発プロジェクト
ケニア	競争力・景気回復支援プログラム

日本におけるHigh 5sの成功

社会的責任投資 (SRI)

私募・売出債により
特定の投資家ニーズに対応

魅力的な資金調達
レベルで、全体の
コストを軽減

ESG投資
に関心のある日本の
投資家のニーズに合
致するテーマ債



年金積立金管理運用独
立行政法人
ESG関連投資促進の
ため、パートナ
シップを確立



High 5sの下での日本円での発行



1億日本円
2051年8月償還
「アフリカの電化」



1億日本円
2051年7月償還
「食料増産」



1億5,000万日本円
2044年3月償還
「地域統合」

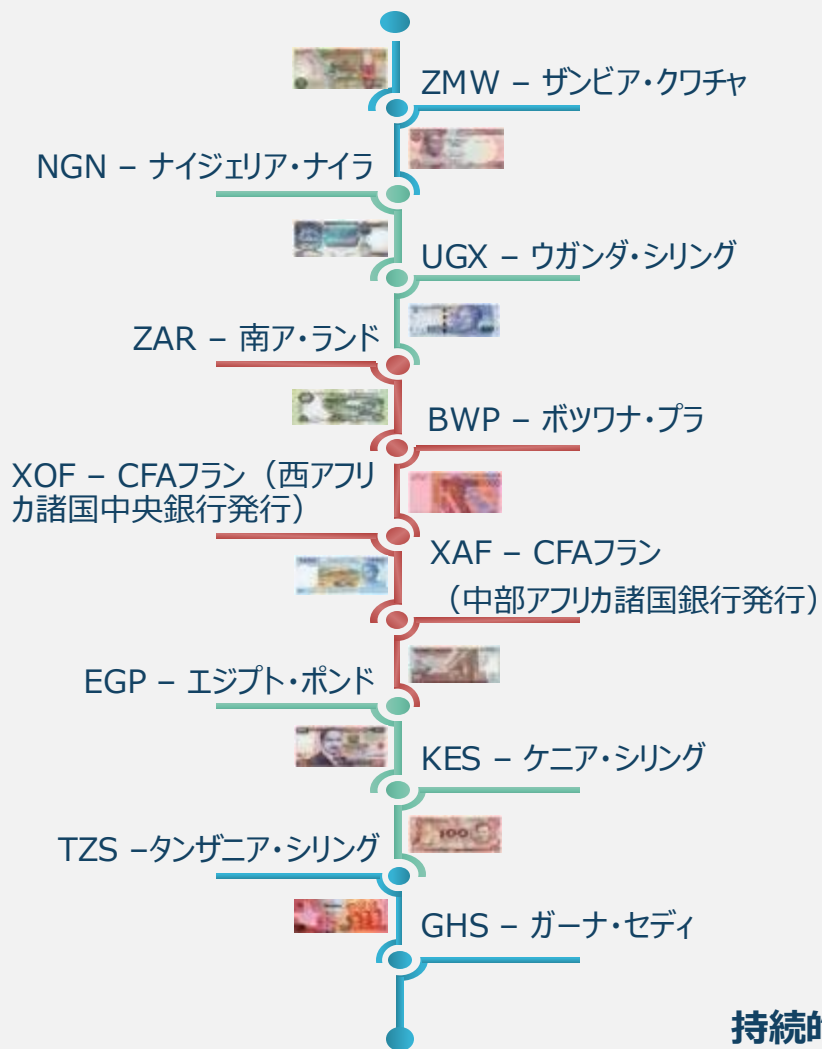


1億5,000万日本円
2053年3月償還
「人々の生活の質の向上」

2024年6月時点の日
本円建て借入残高16
億米ドル

アフリカの資本市場のポテンシャルを十分に活用

貸付通貨を拡大



2023-2024年に発行されたアフリカの通貨建て取引



南ア・ランド
1億4,700万米ドル



タンザニア・シリング
7,500万米ドル



ケニア・シリング
1,900万米ドル



ボツワナ・プーラ
1,500万米ドル



ナイジェリア・ナaira
1,500万米ドル



ザンビア・クワチャ
1,600万米ドル



ウガンダ・シリング
1,400万米ドル

承認されている現地通貨建債券発行プログラム

- 1億6,000万ザンビア・クワチャMTNプログラム
- 1,600億ナイジェリア・ナaira MTNプログラム
- 1,250億ウガンダ・シリングMTNプログラム
- 50億ボツワナ・プーラMTNプログラム
- 200億南ア・ランドインワード・リスティング・プログラム

持続的な民間セクター開発のためにアフリカ現地通貨利用を促進



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

付録



AfDB 貸借対照表ハイライト (単位：百万UA)

12月31日期末	2023	2022	2021	2020	2019
現金	1,383.15	2,830.74	3,303.14	2,332.19	2,132.92
要求払い預金	1.15	1.14	1.14	3.82	3.8
財政投資	12,382.66	11,712.63	9,793.90	8,825.82	10,322.50
デリバティブ資産	895.35	924.35	825.94	1,544.55	1,071.40
資本勘定の非譲渡性証券	36.88	-	-	-	-
未収金	1,830.38	1,323.22	1,178.23	590.77	676.3
融資残高	22,749.19	20,695.33	20,102.39	21,343.23	19,821.19
ヘッジを行った融資 - 時価に評価替え	-278.76	-394.44	48.52	163.78	115.86
貸倒引当金繰入額	-727.78	-732.26	-559.57	-497.41	-454.94
資本参加	1,119.07	1,043.84	983.2	937.27	1,001.32
その他の資産	78.39	84.41	88.75	104.67	98.77
資産合計	39,469.69	38,221.22	36,325.22	35,348.69	35,244.06
負債・資本・準備金					
未払金	1,871.02	1,459.40	1,554.59	1,544.26	1,760.08
デリバティブ負債	2,007.87	2,624.88	949	923.72	643.15
借入金	24,776.41	24,254.21	25,115.71	25,090.10	25,466.87
引受済資本金	6,951.69	6,366.24	5,710.57	5,081.21	4,725.17
引受に対する為替換算調整累計額	-151.64	-154.17	-155.84	-148.21	148.45)
準備金	4,014.34	3,670.66	3,151.19	2,857.61	2,797.24
負債・資本・準備金合計	39,469.69	38,221.22	36,325.22	35,348.69	35,244.06

1 UA = 1 SDR = USD 1.38283 (2019); 1.44027 (2020) ; 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023)

AfDB 損益計算書 (単位：百万UA)

12月31日期末	2023	2022	2021	2020	2019
営業損益					
融資及び関連デリバティブ	1,223.55	521.57	348.24	460.62	650.2
投資及び関連デリバティブ	459.6	218.16	129.34	181.44	263.2
資本参加からの収益	20.48	14.19	23.86	15.25	7.11
その他債券からの収益	7.94	6.89	5.53	2.9	-
融資及び投資からの収益合計	1,711.57	760.8	506.97	660.21	920.5
利息及び債券発行費用の償却	-515.69	-418.13	-393.78	-501.12	-524.06
借入関連デリバティブの純利息	-676.02	64.14	322.73	248.18	47.95
借入金及び関連デリバティブの未実現損失	59.48	88.9	-111.21	63.17	-7.15
融資元本及び未収手数料の減損引当金	-18.29	-97.02	-24.97	-59.86	-112.88
株式投資の減損引当金	0.68	1.53	-0.26	-1.71	0.4
投資の減損引当金	-0.03	0.03	-0.07	-0.04	0.02
金融保証の減損引当金	-1.43	0.87	-0.16	0.26	-0.85
為替(損)益	-10.98	66.46	-1.48	-23.18	8.13
その他の利益	18.32	13.99	13.43	8.6	9.5
純営業利益	567.61	481.57	311.21	394.52	341.56
管理費	-133.12	-207.16	-174.55	-158.41	-179.34
償却 - 有形・無形資産	-28.09	-29.09	-32.75	-33.16	-27.62
雑勘定(費用)/収益	-0.36	-6.04	-7.36	-4.55	-8.43
その他の費用合計	-161.57	-242.3	-214.66	-196.12	-215.39
総務会承認の配分前利益	406.05	239.28	96.55	198.4	126.17
総務会承認の利益配分	-46	-64	-55	-59	-74
当期純利益	360.05	175.28	41.55	139.4	52.17

1 UA = 1 SDR = USD 1.38283 (2019); 1.44027 (2020); 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023)



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DÉVELOPPEMENT

サステナブルボンド 枠組み



新しいサステナブルボンド枠組みでESG市場を前進させる

信頼性と透明性を備えたサステナブルボンド枠組み

- 2023年9月設立
- 既存のグリーンボンド枠組み（2013年）及びソーシャルボンド枠組み（2017年）を統合・合理化
- ICMAグリーンボンド原則（2021年）、ソーシャルボンド原則（2023年）、サステナブルボンド・ガイドライン（2021年）と整合
- 新枠組みの下、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナブルボンドを発行可能
- AfDBの年次サステナブルボンドニュースレターで広範なインパクト報告を公表
- 適格なグリーン及び／又はソーシャルプロジェクトへのサステナブルボンドの配分について、毎年外部保証を実施
- 無担保シニアボンドとサステナブルハイブリッドキャピタルボンドの両方の発行に対応

https://www.afdb.org/sites/default/files/2023/09/12/230912_afdb_sustainable_bond_framework_final.pdf

MOODY'S

INVESTORS SERVICE

セカンド・パーティ・オピニオン

サステナブル・クオリティ・スコア2 [非常に良い]

https://www.afdb.org/sites/default/files/2023/09/12/mis_spo_12092023_afdb_final.pdf

大幅な貧困削減と雇用創出につながる強力な社会的成果と影響を持つプロジェクトに融資

適格な社会プロジェクトカテゴリー

- 手頃な価格の基本的インフラ
- 必要不可欠なサービスへのアクセス
- 食糧安全保障と持続可能な食料システム
- 雇用創出と中小企業金融やマイクロファイナンスを含めた社会経済危機に起因する失業の防止・緩和を目的としたプログラム
- 社会経済的向上とエンパワーメント

気候変動の緩和と適応に焦点を当てたプロジェクトに融資

適格なグリーンプロジェクトカテゴリー

- 再生可能エネルギー
- 持続可能なモビリティ
- エネルギー効率
- 生物天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理
- 持続可能な上下水道管理

AfDB のサステナブルボンド枠組み

資金使途

- ADBが融資するプロジェクトのみ
- サステナブルボンドの純収益と同額が適格なグリーン／ソーシャルプロジェクトに充当
- 気候変動ファイナンスのトラッキング手法と連動したグリーンボンドポートフォリオの適格基準

プロジェクト評価と選考のプロセス

- 業務部門が全プロジェクトを特定・分類し、環境および／または社会的な成果や影響が大きい案件を選別
- 業務部門と財務部門が共同で合意したグリーン／ソーシャルプロジェクトの最終選定
- 持続可能なポートフォリオのモニタリング

収益の管理

- ポートフォリオアプローチ
- サステナブルボンドの純収益と同額を36カ月以内にサステナブルプロジェクトに配分
- 適格なサステナブルプロジェクトへの純収入の結びつきを保証する、認証された正式な内部プロセスを通じて、半期ごとに配分が追跡される
- サステナブルボンドが全額配分されない限り、純収入は流動性自己ポートフォリオに保管され、同じ保守的投資ガイドラインの下で投資される

報告

- サステナブルボンド専用ウェブページ
- 年次サステナブルボンドニュースレター
- 適格グリーン／ソーシャルプロジェクトの環境的・社会的便益に関する年次インパクト報告
- プロジェクトカテゴリー毎の開発インパクト指標
- サステナブルボンドポートフォリオの主要なインパクト指標を含むインパクトの集計報告
- グリーン／ソーシャルプロジェクトへの資金支出と配分に関する情報開示

対外保証

- ムーディーズインベスターサービスによるセカンドパーティオピニオンにより、サステナブルボンドの枠組みが、AfDBのサステナビリティ目標、ICMAグリーン&ソーシャルボンド原則およびサステナブルボンド・ガイドラインの主要な特徴と整合していることを確認
- サステナブルボンドの純収益の適格なグリーン／ソーシャルプロジェクトへの配分を独立した外部レビューアが毎年検証

透明性へのコミットメント

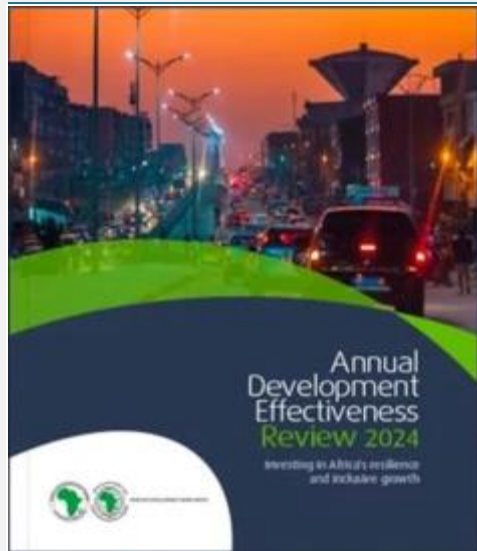
サステナブルボンド専用ウェブページ

- サステナブルボンドの枠組
- ムーディーズのセカンドパーティオピニオン
- 対象となるグリーン/ソーシャルプロジェクト
- サステナブルボンドニュースレター
- サステナブルボンド取引
- 10カ年戦略
- 環境政策
- エネルギー政策
- 統合セーフガードシステム
- 気候変動資金に関するMDB共同報告書
- 気候変動資金追跡方法論
- 年次開発効果レビュー
- アフリカのエネルギーに関するニューディール
- アフリカ経済見通し

透明性へのコミットメント

インパクト報告書：

- 建設または改修された再生可能エネルギー容量
- 年間エネルギー節約量と生産量
- 削減または回避された年間温室効果ガス排出量
- 裨益者数
- 創出された雇用の数
- その他のプロジェクト・カテゴリー固有の指標



ADER報告書は毎年発行され、AfDBの公共および民間セクターの全プロジェクトをモニタリングし、開発目標に対するアフリカの進捗状況の詳細を示し、アフリカの開発に対するAfDBの貢献を評価



変革的なソーシャルプロジェクトへの融資

セネガル – 緊急食料生産プログラム

プロジェクト費用：1億100万ユーロ / AfDB融資：1億100万ユーロ

承認：2022年

本プログラムの目的は、基礎穀物及び園芸食品の輸入依存度を減らすことによって、同国の食料主権を強化すること。その具体的な目的は、基礎穀物の生産量と生産性を向上させることによって、短期及び中期的に同国の食料輸入への依存度を減らすこと。

本プログラムは次の3つの要素に分かれている。(i) 保証種子と相談サポートへのアクセス改善、(ii) 農民による肥料へのアクセス改善、(iii) 農業セクターにおけるガバナンスの改善と公共政策の実施。

モロッコ – 農村地域における包摂的（インクルーシブ）かつ持続可能な開発プロジェクト

プロジェクト費用：2億9,700万ユーロ / AfDB融資：1億1,400万ユーロ

承認：2022年

農村地域の人々の生活の質を向上させ、農業中間層の新世代の出現を促し、モロッコの農業、特に小規模農業の気候変動による影響からの回復力を強化することに貢献するプログラム。

本プログラムは次の3つの要素に分かれている。(i) さらに効率的で回復力があり、持続可能な生産システムの開発、(ii) 包摂的（インクルーシブ）かつ効率的で持続可能なバリューチェーンの開発、(iii) 農業セクターの制度的・部門的能力の構築。

期待される開発成果

- **75万人**の小規模農家が、適切な品質の種子と投入物への確実なアクセスを得る
- 穀物生産量が**25%**増加
- 投入物と種子の供給で、播種面積が**60万ヘクタール**増加
- **50万トン**の穀物、**12万トン**のササゲ、**10万トン**のジャガイモの追加生産
- **10万2,000トン**の肥料を農民に調達

期待される開発成果

- 灌漑サービスの持続可能性により、**2万5,000ヘクタール**の面積が確保
- 灌漑効率が**20%向上**し、灌漑耕作者のニーズが満たされる
- 改修エリアの**5,000人**の農民が給水の改善により裨益
- さらに**600**の施設が改修される
- **1,200人**の雇用創出

変革的なグリーンプロジェクトへの融資

エジプト – エジプト国有鉄道近代化プロジェクト

プロジェクト費用：7億6,500万ユーロ / AfDB融資：1億4,500万ユーロ
承認：2021年

鉄道輸送による同国の社会経済発展への貢献を最大化し、2030年までに持続可能かつ包括的な経済を達成するという目標を掲げるビジョン2030を効果的に支援することを目的としたプロジェクト。鉄道信号システムの機械・電気システムから電子連動システムへのアップグレードと、エジプトの主要鉄道網の特定区間におけるレールの更新及び自動列車保護（ATP）システムの設置を含む。

本プロジェクトは、(i) 列車運行の安全性の向上、(ii) 鉄道網の能力強化、(iii) 列車サービスの効率と信頼性の向上に貢献する。

ガボン – キンゲレ・アバル 水力発電プロジェクト

プロジェクト費用：1億7,900万ユーロ / AfDB融資：1億3,400万ユーロ
承認：2021年

推定設備容量34.1MW、正味年間総発電量203GWhのキンゲレ・アバル水力発電所の設計、建設、運営を含むプロジェクト。本プロジェクトは、ガボンの電力消費量及び需要の増加に対応するため、発電容量の増加という切実なニーズに応えることが期待されている。さらには、ベースロード電力を競争力のある料金で提供することが期待されている。また、本プロジェクトは、経済活動支援を通じて社会経済発展の向上にも貢献する一方、経済セクターを活性化し、国民の期待に応えるために必要な、費用対効果が高く信頼できるエネルギー源を提供する。

期待される開発成果

- 60万トンの温室効果ガスの排出削減
- 650kmの鉄道網増設
- 年間鉄道事故件数が90%減少
- 鉄道輸送の旅客及び貨物市場シェアが70%増加
- 1,500人の雇用創出

期待される開発成果

- 34.1MWの容量設置
- 203GWhの正味年間総発電量が毎年発電される
- 1,300GWhの追加発電容量の設置
- 900万トンの温室効果ガスの排出削減
- 900人の雇用創出



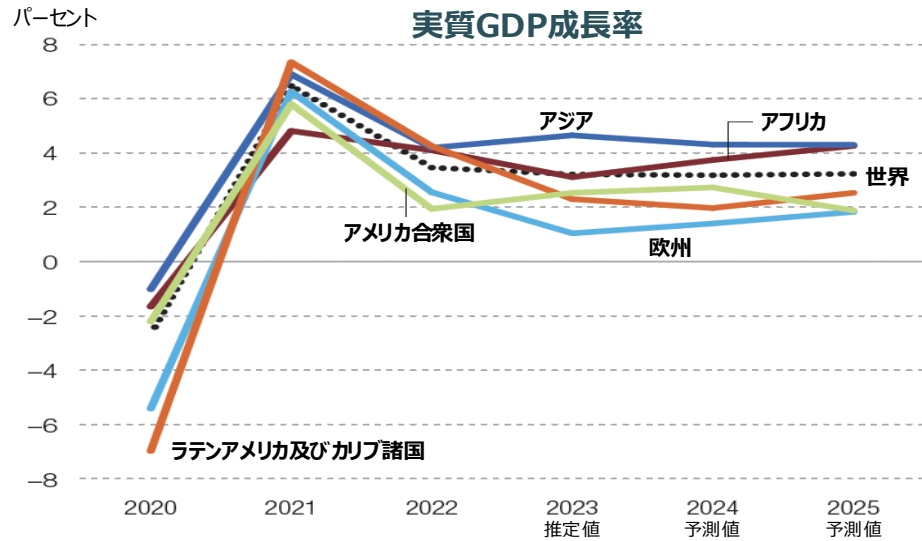
AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

アフリカ経済見通し



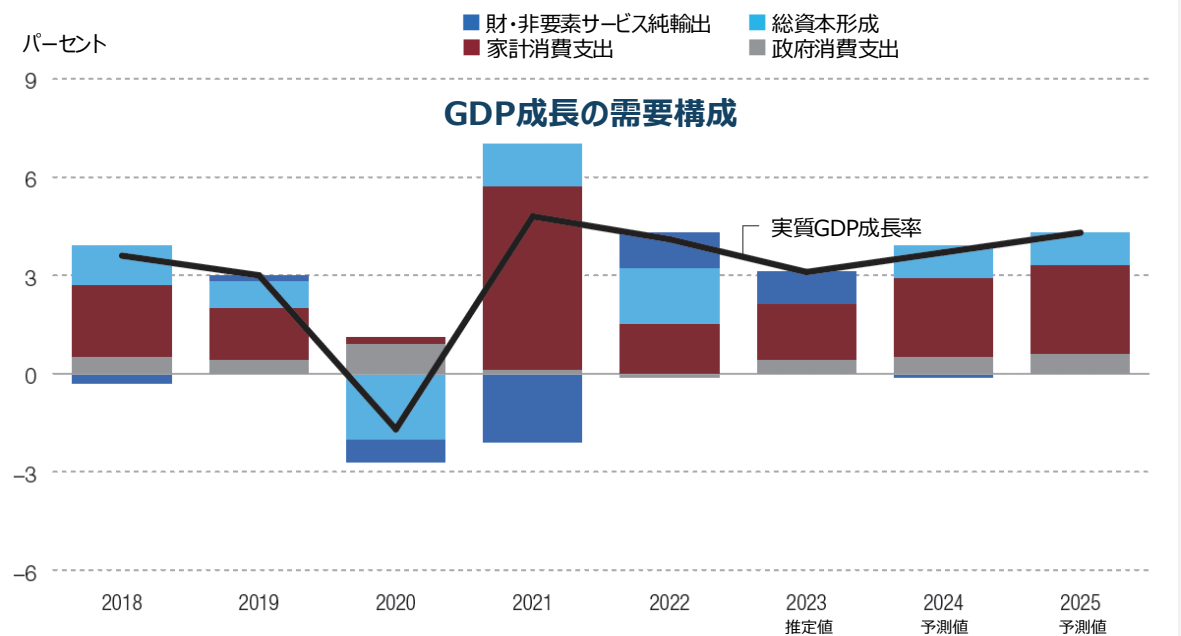
複数のショックの中、経済の強靭性（レジリエンス）

アフリカのGDP成長率は世界平均を上回る見通し



出所：アフリカ開発銀行統計及び国際通貨基金（IMF）世界経済見通し、2024年4月

個人消費と投資が成長を牽引



財政赤字は、2022年の4.9%から2023年の5%へと微増した。2024年には4.7%、2025年には4.3%への縮小を予測。

財政赤字はわずかに拡大した後、パンデミック前の水準に達する見込み。

- プライマリーバランスがわずかに拡大した主な要因は、エネルギーセクターの収益が減少する中で、上昇する食品価格による影響を緩和するために実施された措置である。

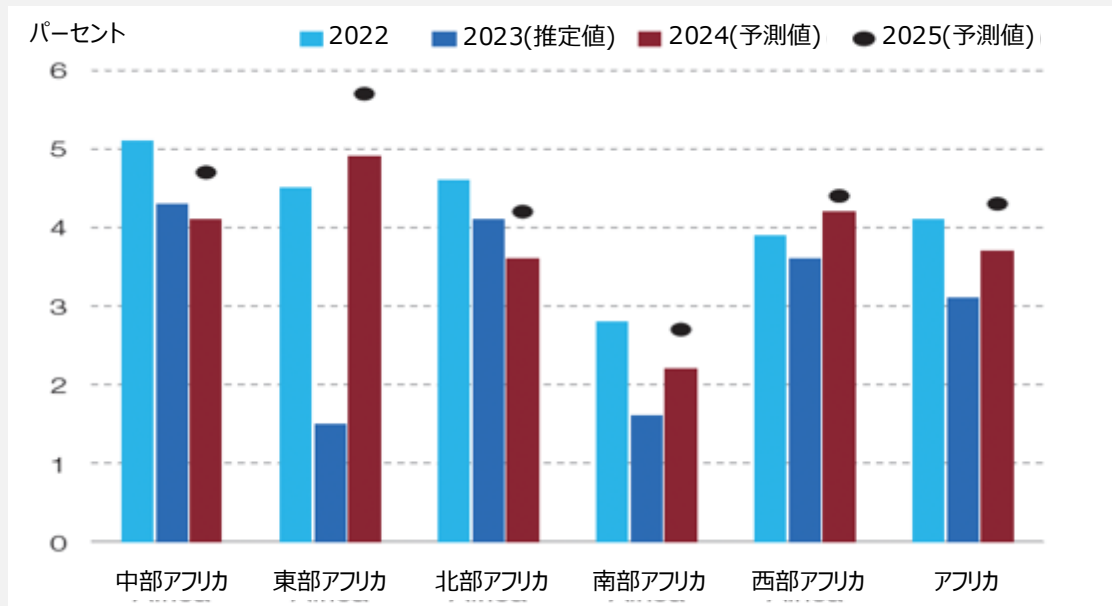
インフレ率は、2022年の14%から2023年には17%、2024年には17.4%へと上昇し、2025年には12.3%へと落ち着く見込み。

インフレ見通しは好ましくない状況が続く

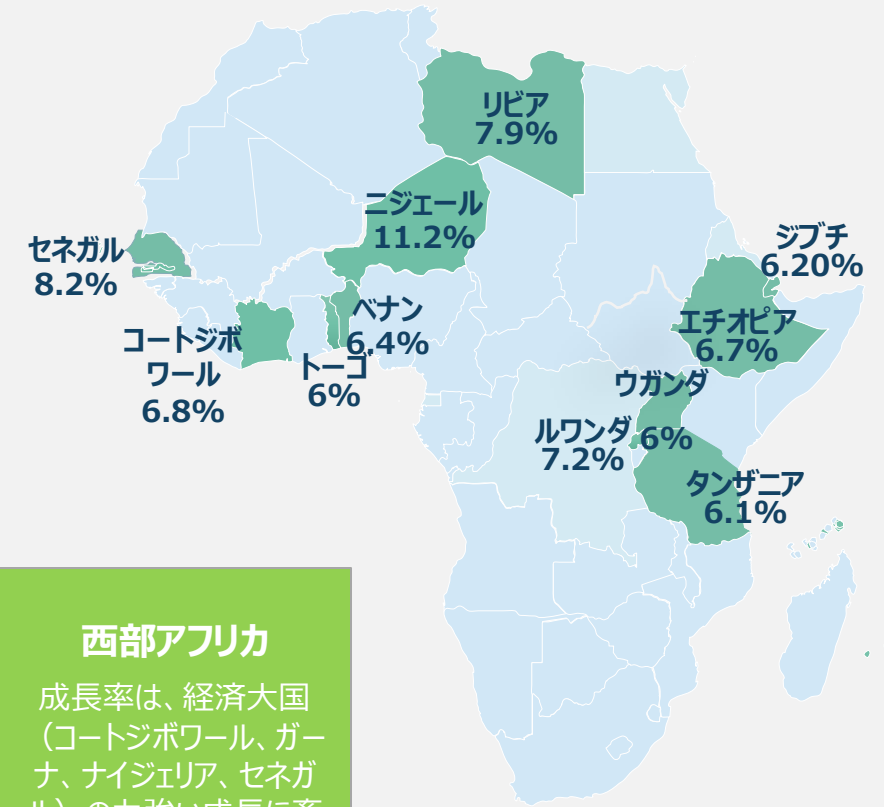
- 干ばつによる国内の供給不足と石油価格の高騰による食品価格の高騰
- 2020年から2021年にかけて実施された、パンデミック関連の財政・金融刺激策による過剰流動性
- 通貨の下落によるパススルー効果 対 米国の高金利に押し上げられた強い米ドル

東部アフリカが牽引する景気回復の予測

地域別実質GDP成長率



世界で最も経済成長の著しい11か国（2024）



中部アフリカ

好調な金属価格への期待から、チャドとコンゴ民主共和国のより力強い成長に牽引される成長率は、2023年の4.3%から2024年の4.1%へと緩やかとなった後、2025年には4.7%に改善する見込み。

東部アフリカ

実質GDP成長率は、2023年の推定値1.5%から2024年には4.9%、2025年には5.7%へと上昇し、アフリカで最も急成長する地域としての回復が見込まれる。

北部アフリカ

成長率は、2023年の4.1%から2024年には3.6%、2025年には4.2%に低下すると予測される。リビアとモーリタニアを除き、同地域の全ての国々の成長率が下方修正された。

南部アフリカ

成長率は、2023年の推定値1.6%から2024年には2.2%、2025年には2.7%へとわずかに上向き見込み。これは、同地域最大の経済大国である南アフリカの持続的な低迷を反映している。

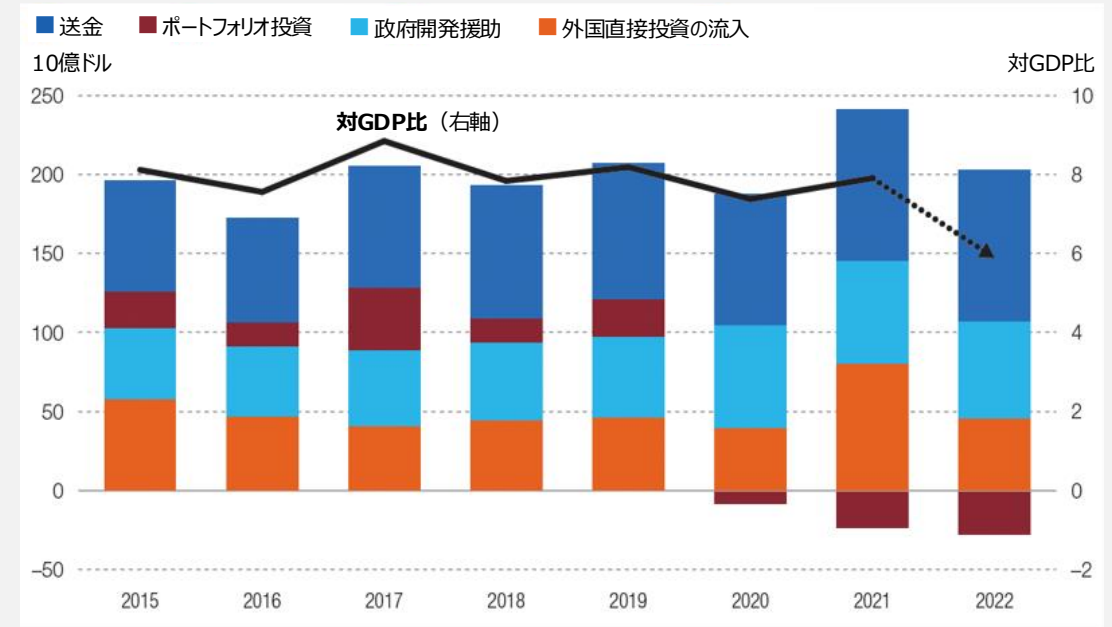
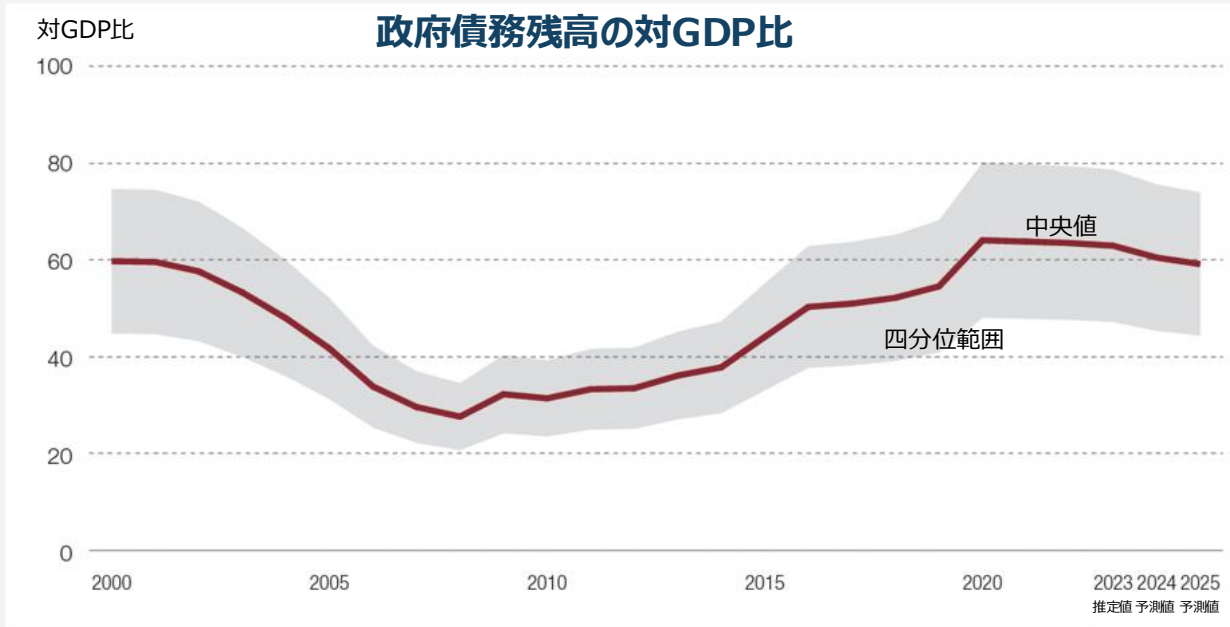
西部アフリカ

成長率は、経済大国（コートジボワール、ガーナ、ナイジェリア、セネガル）の力強い成長に牽引され、2023年の推定値3.6%から2024年には4.2%へ、2025年には4.4%へと上向きことが予測されている。

…しかし、債務問題に対処するには不十分な経済成長

公的債務はアフリカ大陸全体で安定したが、パンデミック前の水準を依然として上回っている

対外資金の流れは、世界的な財政状況の引き締めと高い不確実性に苦しんだ



最近の累積債務の要因

- 未曾有のショックによる不安定な公共財政
- パンデミックに見舞われた経済を支援し、食品とエネルギーの価格高騰による家計への影響を緩和するための政府行動
- 多くの国々で、対外債務返済がパンデミック前の水準を上回った

- 外国直接投資 (FDI)、政府開発援助 (ODA)、ポートフォリオ投資及び送金は、2021年の2,170億米ドルから2022年の1,750億米ドルへと19.4%減少した。
- FDIは44%減少し、純ポートフォリオ流出は17%減少した一方、ODAの流入は6%減少した。
- 送金のみが0.2%の微増であった。



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

よくあるご質問



よくあるご質問

1) AfDBとADFの関係は？	63
2) AfDBの資本構造は？	64
3) 資本の払込請求の手続方法は？	65
4) 投資ガイドラインは？	66
5) AfDBの信用ポリシーは？	67
6) AfDBの貸出限度額は？	68
7) 融資の適格基準とは？	69
8) AfDBの融資承認プロセスとは？	70
9) AfDBの融資金利とは？	71
10) AfDBの出資方針とは？	72
11) 出資の適格基準は？	73
12) 最大の想定エクスポージャーは？	74
13) 国別のソブリン及びノンソブリンポートフォリオの分布は？	75
14) 北アフリカへのエクスポージャーは？	76
15) エクスポージャーの交換に関する合意とは？	77
16) 優先的に弁済を受ける債権者としての地位（PCS: Preferred Creditor States）とは？	78
17) AfDBの不良債権は？	79
18) 債務償却に関するポリシーとは？	80
19) 脆弱な状態とは？	81
20) アフリカにおける現場でのプレゼンスは？	82
21) AfDBの統合セーフガードシステムとは？	83
22) 倫理的な事業慣習とは？	84
23) 採取産業透明性イニシアティブとは？	85

AfDBとADFの関係は？



アフリカ開発銀行（AfDB）とアフリカ開発基金（ADF）はそれぞれ AfDB グループの事業体で、法的かつ財務的に独立しており、資産及び負債も区別されている。



アフリカ開発銀行（AfDB）は、資金を資本市場で調達し、格付を受け、アフリカ地域の最も信用性の高い諸国及び有望なセクターのプロジェクトに融資を行う事業体である。



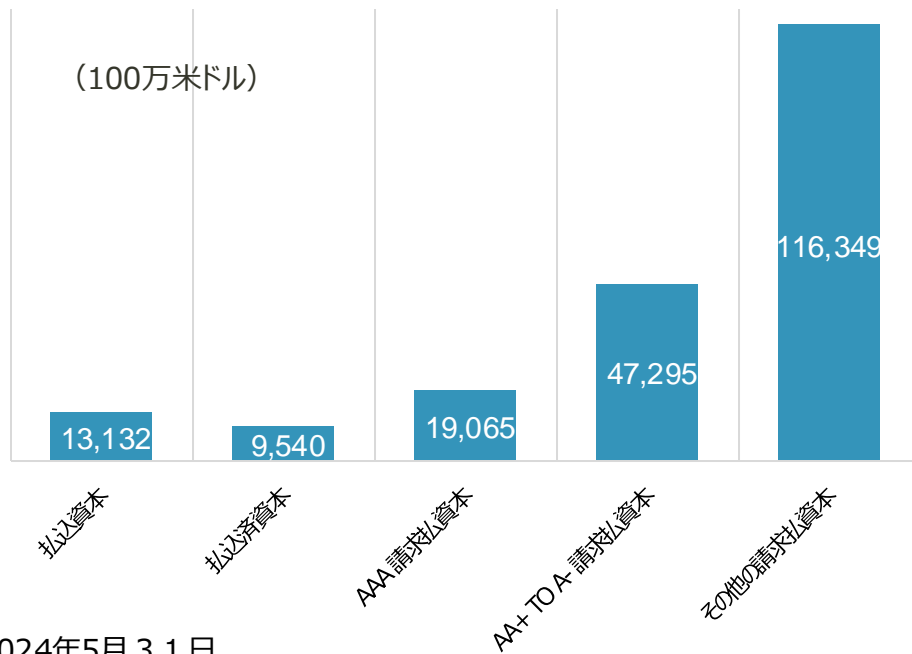
アフリカ開発基金（ADF）は、主にドナーから拠出された資金でソフトローンの貸付けを行うアフリカ開発銀行グループ内の部門である。アフリカの最貧国に対し譲許的融資や無償資金を提供している。



AfDB はADFに出資しており、毎年、純利益からADFに拠出している。AfDB 及び ADF は互いのいかなる負債に関しても一切の償還請求の責務を負わない。両機関はそれぞれ独立した事業体であるため、両機関間でエクスポージャーの移動はできない。

AfDBの資本構造は？

AfDBの資本構造（引受済株式）



2024年5月31日

2024年5月31日時点の授權資本は、2024年5月に理事会が承認した1,170億米ドルの一般請求払資本増資を含めて、3,180億米ドル

第7次一般増資：
6%の払込済資本を含む
125%の増資により、
資本額は約2,080億
米ドルに増加

弊行のフランチャイズ価値、
主要な健全性レシオ、AAA
信用格付けを強化

請求払資本（callable capital）は、
財政難の場合に、各株主国がAfDBに追加資金を提供する
というコミットメント

株主国の強力な支援を示す

将来的に増加する需要を
満たし、事業の成長計画を
支援する能力

将来的に増加する需要を
満たし、事業の成長計画を
支援する能力

資本の払込請求の手続方法は？

目的

- 請求払資本（Callable Capital）は、拠出された資本の一部であり、借入金又は保証に関するAfDBの義務を果たすために必要な場合に限り、払込請求が可能。

メカニズム

- 支払は、加盟国により金、交換可能通貨又は払込請求の基となったAfDBの義務履行のために要求されている通貨で行われなければならない。
- AfDBは加盟国に対し、請求払資本の払込請求の際には、AfDBがニューヨークの連邦準備銀行又はその目的のために正式に指名された後継機関に設定した特別口座にかかる払込請求に応じて支払をするよう求める契約を締結している。
- かかる口座の条件では、払い込まれた資金は、まずシニアデットの発行に関連してAfDBが負っている債務残高の全ての返済又は全額清算のための引当金に充当し、その他のいかなる返済にも優先すると規定されている。

独立義務

- 請求払資本の払込請求は、自己資本のすべての株式の比率に対して均等であることが要求されているが、かかる払込請求に対して支払を行う加盟国の義務は、それぞれ独立したものである。
- かかる払込請求に対する支払について1カ国又は複数の加盟国が不履行となった場合でも、その他の加盟国は支払義務から免れない。弊行の義務を果たすために必要であれば、債務不履行をしていない加盟国に対して追加の払込請求ができるが、いかなる加盟国も通常資本のうち払込がなされていない金額を上回る支払は要求されない。

注記： アフリカ開発銀行は、同機関が請求払資本を払込請求する際の法的枠組み、プロセス、ガバナンスを明確にした報告書を発表した。

<https://www.afdb.org/sites/all/libraries/pdf.js/web/viewer.html?file=https%3A%2F%2Fwww.afdb.org%2Fsites%2Fdefault%2Ffiles%2Fdocuments%2Ffinancial-information%2Fanalysis%20of%20callable%20capital%20-%20april%2012%202024-final%20formatted-3.pdf>

投資ガイドラインは？

投資の種類	最低格付け	最大満期	流動性ヘア・カット率
国債／政府機関債／国際機関債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	30年 15年 1年	AAAは0% AA+からAA-は20% A+からA-は40%
銀行債及び金融機関債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10年 5年 6ヵ月	AAAからAは50% それより下位は100%
社債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10年 5年 6ヵ月	AAAからAは50% それより下位は100%
不動産担保証券（MBS）及び 資産担保証券（ABS）	AAA/Aaa	40年	100%

AfDBの信用ポリシーは？

▶ AfDBグループの信用ポリシーでは、以下2つの基準に基づいて、域内加盟国（RMC: Regional Member Country）のアフリカ開発銀行、アフリカ開発基金またはその両方への適格性を判断する。

- 1人当たり国民所得が一定基準値以上
- 非譲許的借入に相応しい信用

▶ 信用アセスメントに加え、弊行は全アフリカ加盟国について、国際的な大手格付機関に評価されたソブリン格付モデルに基づき、毎年内部格付を行っている。ソブリン格付は年間を通じて継続的にモニターされ、各国のファンダメンタルズに変化がある場合には格付の変更もあり得る。また、これらは行内信用リスク委員会のレビューを受け、承認される。

▶ **2024年6月時点で、**

- **ソブリン融資の適格国は17カ国**：アルジェリア、アンゴラ、ボツワナ、カーボヴェルデ、コンゴ共、エジプト、赤道ギニア、ガボン、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、セーシェル、南アフリカ、エスワティニ、チュニジア。
- **AfDB及びADB双方の融資を受けることが可能な「ブレンド国*」は6カ国**：カメルーン、コートジボワール、ケニア、セネガル、タンザニア、ザンビア。

▶ 2014年、弊行はADF適格国の経済開発需要に積極的に対応することを目的として、信用ポリシーに柔軟性をもたせる改訂を行った。この改訂により、このカテゴリーの国々に対し個別事案に応じて、AfDBの公的窓口から革新的プロジェクトに対する資金を提供することができる。AfDBのソブリン融資を受けるためには以下の基準を満たす必要がある。

- (i) IMF/世銀の債務持続性評価（DSA: Debt Sustainability Analysis）が定義する債務困難性に係るリスクが、低程度から中程度の国として分類されていること
- (ii) IMFのDSAが定める非譲許的借入を受ける余裕が当該国にあること
- (iii) 当該国のマクロ経済が、特別リスク評価の基準に照らして持続可能な状態であること
- (iv) 貸付要請が、域内加盟国のためのリスクアセスメントに基づき、行内の信用リスク委員会から承認を受けること

2014年の信用ポリシー改訂によるAfDBのソブリン融資を受けることが可能なADF適格国は2カ国：ベナン、ルワンダ（2024年時点）。

*ブレンド国とは、ある信用状態から別の状態への移行枠組みにある国。一人当たりの所得は未だ一定レベルを下回っているものの、信用力があるとみなされる国がブレンド国として取り扱われる。

AfDBの貸出限度額は？

リスクからAfDBを守るという最も重要な目的のため、AfDBの事業には複数の制限が設けられている：

- ノンソブリンの事業はリスク総資本*の45%
- 市場リスク及びオペレーショナル・リスクはリスク総資本の10%

制限	定義	比率
カントリー制限	単一国に割り当てられる総資本額	AfDBのリスク資本の15%
セクター制限	単一セクターに割り当てられる総資本額	セクターに関わらず、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の11.25% 金融サービスセクターは、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の15.75%
単一ネーム制限	単一カウンターパーティーに割り当てられる総資本額	民間セクターのリスク資本の2.7%
資本参加制限	資本参加	リスク総資本の15%

* リスク資本は、払込済資本及び準備金と定義される。

融資の適格基準とは？

公共部門

適格性は以下の2つの柱に基づく。

- 1人当たりの国民総所得
- 信用度

2024年6月時点のソブリン貸付の適格国は、アルジェリア、アンゴラ、ベナン、ボツワナ、カーボヴェルデ、カメルーン、コンゴ共、コートジボワール、エジプト、赤道ギニア、エスワティニ、ガボン、ケニア、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、セネガル、セーシェル、南アフリカ、タンザニア、チュニジア、ザンビアの25カ国。

適格国のリストは各国の状態に応じて定期的に見直され、適格国への追加または削除は理事会で決定する。

また、AfDBは国際的な大手格付機関が認めるソブリン格付けモデルに基づき、アフリカ地域の全加盟国の内部格付を毎年実施している。ソブリン格付は1年を通じてモニターされているが、各国のファンダメンタルズに変化がある場合には変更することがあり、その場合にはAfDBの信用リスク委員会の承認が必要である。

民間セクター

AfDBは、54カ国の域内加盟国の商業的に有望な民間セクターの事業に貸付を実施している。商業的に存立する可能性やリスクは内部格付モデルに基づいて概算される（内部格付モデルは国際的な大手格付機関の支援の下、定期的に見直される）。格付けは毎年最低1回は見直され、積極的な改善策がタイムリーに実行されるよう継続的にモニタリングされる。

AfDBは内部格付が「5」を下回る（国際基準の「B-」に相当）のプロジェクトには貸付をせず、格付が「5」以上（数字上）の場合は次の条件を満たす必要がある。

- 1) 臨時理事会の承認、及び
- 2) 限度額はAfDBの資本金の10%までであること

また、AfDBは単一ネーム・エクスポージャー（リスク資産総額の6%）及びセクター・エクスポージャー（民間セクター事業に割当てられるリスクキャピタルの25～35%）を管理するため、限度額を設定している。

AfDBは、民間セクターの事業に関する事前追加性及び開発成果の評価（ADOA）のための枠組みを使用している。設定された基準となる開発成果指標により、追跡、モニタリング及び事後評価が容易になる。

AfDBの融資承認プロセスとは？

AfDBには、関与する分野を決定する際に、10カ年戦略の一環として明確な中核的事業優先事項と分野横断的なテーマがある。プロジェクトは、すべて同一の内部承認プロセスを経る。

- ▶ **1.プロジェクトコンセプトノートの作成** -プロジェクトコンセプトノート（PCN）とは、融資を受けるプロジェクトの主な特徴を簡潔かつ分析的に示すために作成される文書である。その主たる目的は、プロジェクトの査定及びデュー・デリジェンスを進めるか否かについて、管理職が詳細な情報を得た上で判断できるようにすることである。PCNの第一段階の審査を担うのは、査読者及びAfDBの幅広い関連部署から選りすぐられた専門家から構成されるプロジェクト査定チーム（PAT）のメンバーである。PCNは、最終的にカントリーチームによる審査及び検討を経る。カントリーチームは取引が計画性を持っているか、構造及び方向性がAfDBの戦略と開発優先事項に準拠しているかを判断し、プロジェクトが技術的に健全で商業化が可能かを明らかにする。PCNは（地域責任者が議長を務める）カントリーチームの認可後、最終的な認可を得るために（AfDBの副総裁・最高執行責任者が議長を務める）事業委員会に引き継がれる。ただし、1億UA以上の資金、風評リスク、非常に革新的な計画を含む場合など、特定の状況に対応した一部のプロジェクトのPCNは、（AfDBグループの最高リスク管理責任者が議長を務める）信用リスク委員会による事前の審査を受けなければならない。信用リスク委員会は、最終的な認可が行われる前に事業委員会に対して信用リスクガバナンス、信用評価及び格付け変更の承認に適用可能な勧告を行う。これに続き、事業委員会は、事業の技術的詳細を中心にプロジェクト草案を包括的に審査する。この段階で特に重要なのが格付けである。この段階でプロジェクトが認可された場合、PATは査定及びデュー・デリジェンスを行うためにプロジェクト査定ミッションに移り、その場でプロジェクトを評価する。同時に、AfDBのリスク管理部が独自のプロジェクト信用評価を行い、サマリー・クレジット・ノートを作成する。
- ▶ **2.プロジェクト査定段階** -デュー・デリジェンスの完了時にプロジェクト査定報告書が作成される。その後、カントリーチームと同等のプロジェクト査定チーム内で議論される。カントリーチーム内でのプロジェクト査定報告書の議論は、さらなる信用評価に関する勧告を行うために信用リスク委員会が行う審査の後に行われるものである。カントリーチームによる認可後、プロジェクトは事業委員会に送付され、承認を得るため理事会に提出される。
- ▶ **3.理事会の承認** -最終承認は理事会の判断に委ねられる。理事会は、プロジェクト査定報告書及びリスク管理部が作成した独立した理事会信用覚書報告書に基づいて決定する。

承認（及び融資実行）後も、AfDBのリスク管理部が定期的に全てのプロジェクトを評価及び査定を実施し、内部リスクの格付けも定期的に更新される。

AfDBの融資金利とは？

	完全フレキシブル ソブリン融資及びソブリン保証付融資	ノンソブリン融資
通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨
満期	最長25年（最長8年の猶予期間）	最長15年（最長5年の猶予期間） 長期間に及ぶ満期も個別に検討可能
貸出利率	価格転嫁 基準金利（変動又は固定） + 資金調達コストマージン + 貸付スプレッド（80bps） + 期間プレミアム	基準金利 + 貸出金利のマージン
基準金利	固定： <ul style="list-style-type: none"> - 米ドルに対するデیلیー-SOFR複利後決め - ユーロに対する600万EURIBOR - 南アフリカランドに対する300万JIBAR - 日本円はデیلیー-TONA 複利後決め 借主は変動基準金利から固定基準金利への変更をリクエスト可 <ul style="list-style-type: none"> - 現地通貨は、資金調達は融資と連続して行われ、コストは借主負担 	固定： <ul style="list-style-type: none"> - 米ドルはデیلیー-SOFR複利後決め - ユーロに対する600万EURIBOR - 南アフリカランドに対する300万JIBAR - 日本円はデیلیー-TONA 複利後決め 借主は変動基準金利から固定基準金利への変更をリクエスト可。また、借主は期間SOFRをリクエストも可能であり、その場合、デیلیー-SOFRとの差を考慮するためにベースス・スプレッドを適用 <ul style="list-style-type: none"> - 現地通貨は、資金調達は融資と連続して行われ、コストは借主負担-
資金調達コストのマージン	AfDB の実際の平均資金調達コストがベンチマークを上回るか下回るか、次のセメスターに適用され、半年毎に改訂	南アフリカランドは資金調達コストマージンが設定され、貸付実行時に適用
貸付金利のマージン	80bps	AfDBのノンソブリン金利枠組みに沿った個別プロジェクトの信用リスク格付けに基づく。マージンには信用リスクプレミアム（不履行確率及び不履行時損失率から算出）及び集中リスクプレミアムが含まれる。SOFR および TONA の場合、追加の目標調達コストマージンが貸出マージンに追加
期間プレミアム	融資の平均満期に応じて（最長12.75年は0bps、12.75年以上15年未満の平均満期は10bps、15年以上17年未満の平均満期は20bps）	
手数料	25bpsのコミットメント・フィー及び25bpsのフロント・エンド・フィー	<ul style="list-style-type: none"> - フロント・エンド・フィー 1% - アプレイザル・フィー 0~1% - コミットメント・フィー 0.5~1% - 遅延損害金 利息の 2%
返済条件	猶予期間の満了後、元本の均等払い。その他の返済条件も検討可能	猶予期間の満了後、元本の均等払い。その他の返済条件も検討可能
オプションナリティ	借主は基準金利の固定、解除及び再固定が可能。基準金利に関してはキャップとカラーが利用可能。融資の実行部分及び未実行部分に関して通貨換算が可能	固定基本基準金利をリクエスト可。スタンドアローンのヘッジ商品も活用可

AfDBの出資方針とは？

AfDBは、開発効果の諸原則に準拠し、キャタリスト効果を最大化する適切な運用を選択するため、事前に定義された適格基準を適用する。

目的：

- 出資の目的は、リターンに加え下記を促進することにある。(a)生産的事業のローカルオーナーシップ、(b)資源の有効利用、(c)域内の経済協力及び経済統合、(d)国家又はサブリージョナルな経済の多様化及び近代化の観点から、重要性が増しつつある経済セクターにおける起業リスク負担、(e)アフリカの中・大規模企業の競争力を強化する手段として、コーポレートガバナンス、経営管理及び企業責任におけるベストプラクティスの基準、(f)社会経済インフラ、製造業、農業ビジネス、食料安全保障及び金融セクターの発展など、経済に極めて重要なセクターへの国内、域内及び海外からの直接投資の動員。

適格性：

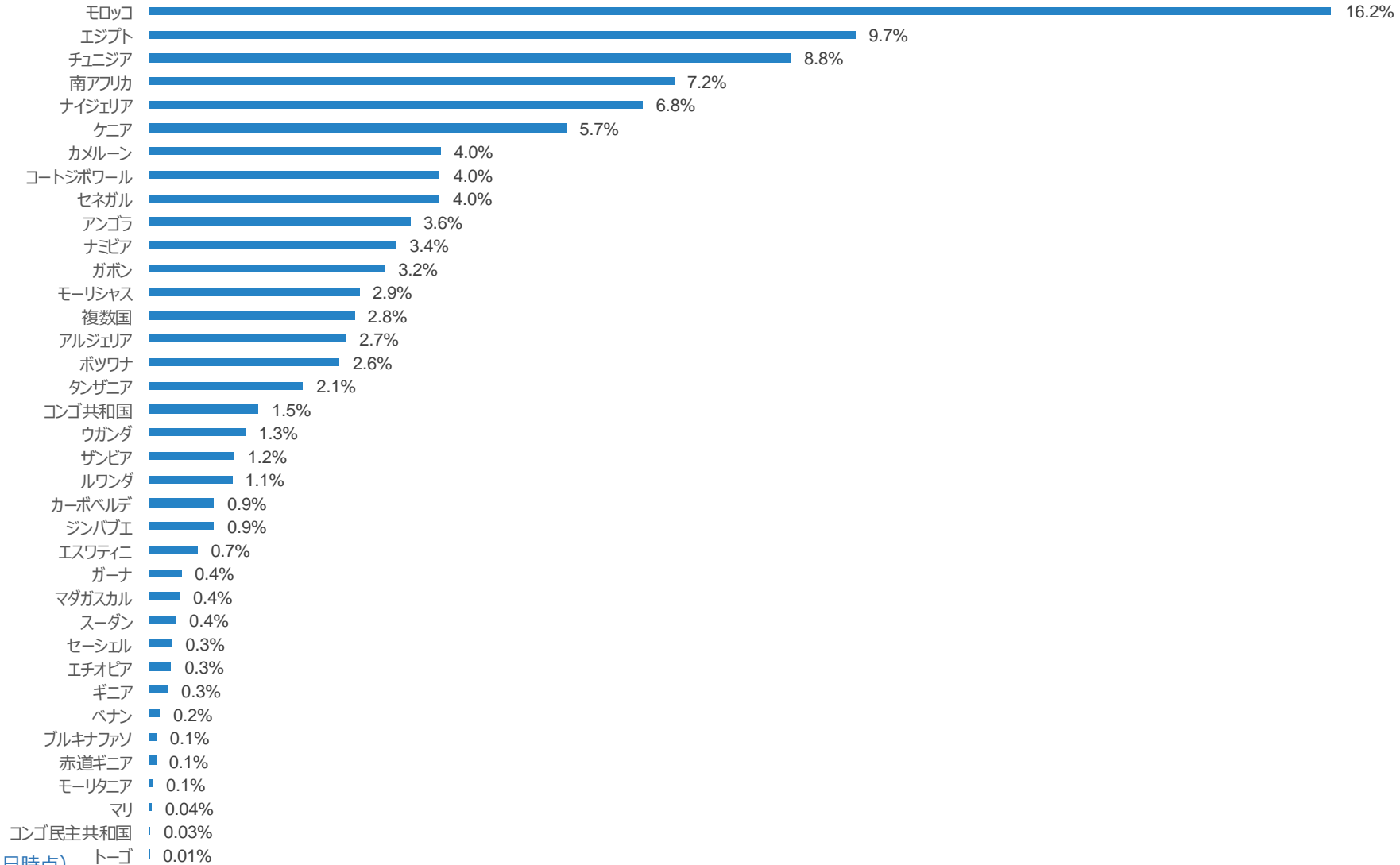
- ノンソブリン事業は、AfDBの投資先として適格と考えられる域内加盟国で実施可能；
- 全ての経済セクター及びサブセクターはAfDBの投資先となりうるが、下記は除く：
 - アルコール飲料、タバコ及び高級品の生産
 - 武器、爆弾及びその他の軍事又は準軍事目的で使用される製品の生産又は取引
 - 原子炉とその関連商品、アスベスト繊維並びに有害物質の生産、取引又は使用
 - 国際条約（CITES）で規制されている野生生物及び野生生物製品の取引
 - プラチナ、真珠、貴石、金及びそれら関連製品の投機売買又は投資
 - 賭博、カジノ及び同種の企業
 - 管理されていない主な熱帯雨林における伐木機械の使用
 - 有害又は搾取的な強制労働及び／又は児童労働を伴う経済活動
 - 当該国の法令又は国際条約及び国際合意により違法とみなされる製品の生産もしくは取引又は活動

出資の適格基準は？

戦略上の適合性	ノンソブリン事業は、AfDB（10ヵ年戦略2013-2022と後継のHigh 5s「5つの優先分野」）、及び域内加盟国（国別戦略報告書と地域統合戦略報告書）の戦略的方向性や優先順位に適合しなければならない。
信用度	潜在的投資先は、有能な経営陣及び良好なコーポレート・ガバナンスにより運営されなければならない。また当該投資先は、優良な環境及び社会的責任の実績又は証明力、有望なビジネスモデル並びに現実的な企業戦略を伴い、AfDB及び他の投資家への償還に十分な収益をあげる能力がなければならない。
商業的に存立する可能性	資本参加、配当金の支払及び／または内部留保の良好な見込みがあり、十分な経済的及び財務的投資収益率をあげられなければならない。
投資収益率	単一の投資に対する投資収益及びその株式ポートフォリオの評価において、AfDBは投資に関する財務的投資収益率（FRRI: Financial Rate of Return on Investment）を算定する。AfDBは、将来の投資毎に予想されるFRRIを計算する。かかるFRRIは、同一の投資先に対してシニアローンを貸し出す際に適用するレートに対して適切なプレミアムでなければならない。
出口戦略	達成可能な「出口戦略」が定められ、他の主要株主が合意する場合にのみ、出資を承認する。
開発成果	AfDBは最後の貸し手という立場で、顧客が借り手として合理的とみなされる条件でAfDB以外から融資を得られるとの見解である場合には、ノンソブリン事業に融資を提供しない。
AfDBのアディショナリティ（追加性）	AfDBの役割が、民間セクターから提供される資金に対して「付加的（additive）」である場合にのみ、AfDBは取引に参加する。すなわち、参加により下記が提供される場合である：(a)政治的リスクの緩和、(b)融資期限の延長及び資本市場の発展促進を含む財政的追加性、並びに、(c)開発成果の向上。「付加性（additionality）」の評価に際しては、当該事業にAfDBの参加がなければ行われなかったであろう追加的な協調融資動員のこととなり、及び関連する経済セクターに対するその他の投資の呼び水となるというAfDBの役割に、特に焦点が当てられる。
投資規模	AfDBは投資先企業の経営権を取得することを目的としていないため、資本参加は投資期間を通して企業の総資本の25%までに制限される。
プライベート・エクイティ・ファンド	評価は下記の要素に基づき行われる：(a)財務の健全性及びファンドの過去の実績、(b)投資戦略及びリスク管理、(c)産業構造、(d)経営及びコーポレート・ガバナンス、並びに(e)情報の質。

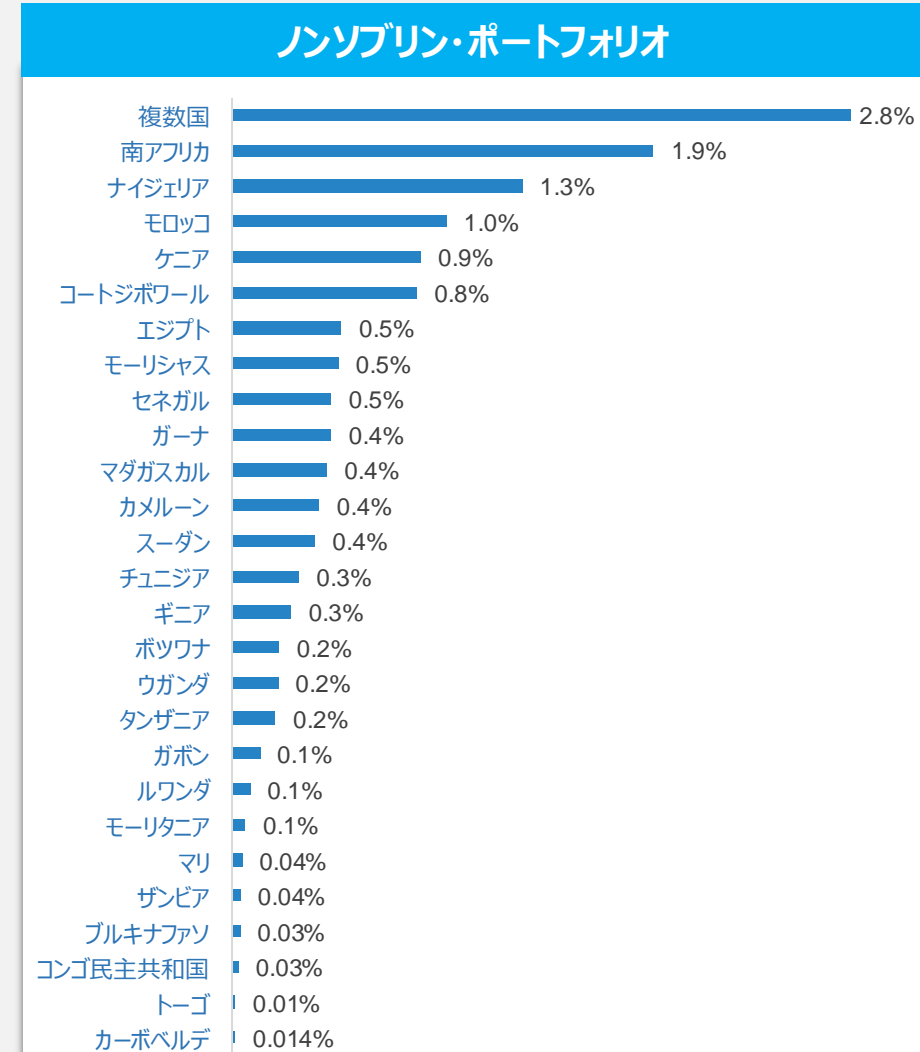
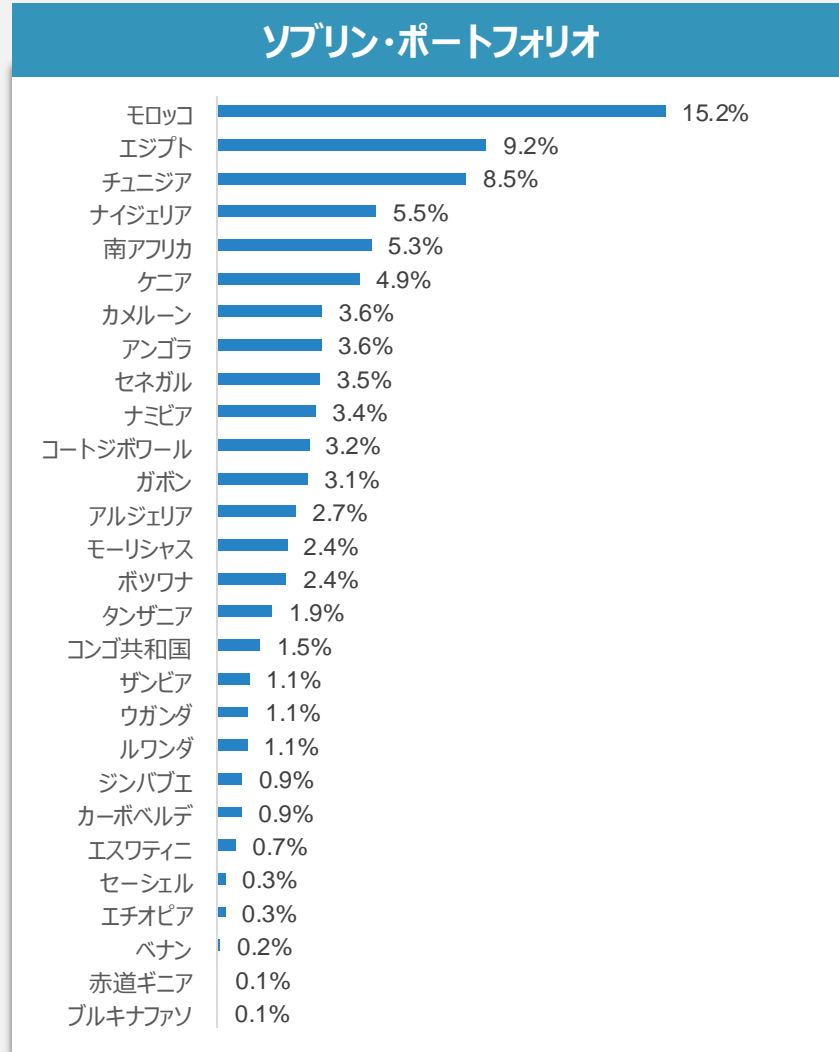
最大の想定エクスポージャーは？

連結ポートフォリオ（ソブリン及びノンソブリン）



(2023年12月31日時点)

国別のソブリン及び ノンソブリン・ポートフォリオの状況は？



(2023年12月31日時点)

北アフリカへのエクスポージャーは？

(単位：百万米ドル)

国	現在の残高	未実行残高	名目エクスポージャー
チュニジア	2,685	912	3,597
エジプト	3,003	216	3,220
モロッコ	4,947	905	5,852
アルジェリア	826	-	826
スーダン	115	-	115
モーリタニア	18	-	18
北アフリカ合計	11,594	2,034	13,628
AfDB合計	30,522	12,028	42,550
エクスポージャー比率	38%	17%	32%

(2023年12月31日時点)

エクスポージャーの交換アグリーメントとは？

2015年、AfDBは、貸借対照表の最適化、ソブリン集中リスクの軽減、及び貸付枠の増加を実現するために融資ポートフォリオのリスク管理を目的に、他の国際開発金融機関(MDBs) -米州開発銀行(IADB)と国際復興開発銀行(IBRD) -とエクスポージャーの交換に関する契約(EEA1: Exposure Exchange Agreement)を初めて締結した。

高リスク国への融資能力増強と、準高リスク国に対するヘッジのため、2023年にアジア開発銀行(ADB)と2回目のEEA (EEA2) が締結された。

EEAは、各国に対して総エクスポージャーの最低50%を保有する各参加MDBとの間で、定義されたソブリン信用エクスポージャー(defined sovereign credit exposure)に関する同様の信用リスクを同時に交換する内容を含む。ソブリン融資を実行したMDBが引き続き契約上の貸し手となる。

他のリージョナルMDBと同様、AfDBの信用格付は集中リスクの影響を受ける

EEAは全てAAA格付けを受けているIBRD、IADB、ADBとソブリン集中リスクを軽減する目的で締結

EEAは融資能力及び自己資本比率を大幅に改善

- 売主は、買主が参照ポートフォリオ内の全部又は一部の債権償却又は再編を行う場合、買主に対して元金支払のみを要求する。交換されたエクスポージャーの金額はその時点で理論上等価であることから、プレミアムの支払いはない。
- 経験上、MDBsへの滞納金は最終的には必ず清算されるため、MDBsが滞納金を償却することはほとんどない。
- 2023年12月時点で、このEEAの下で行われた、いかなるエクスポージャーについてデフォルトは発生しておらず、AfDBは引き続きそのソブリン融資及び保証に係るエクスポージャーの全額の回収を見込んでいる。

EEA1 取引スナップショット

規模
45億米ドル

満期
最長15年
(11年目に償却)

参照ポートフォリオ
RMCs9カ国のソブリンADBエクスポージャー

EEA2 取引スナップショット

規模
10億米ドル

満期
最長15年
(11年目に償却)

参照ポートフォリオ
AsDB 5カ国のためのRMCs7カ国のソブリンADBエクスポージャー

優先的に弁済を受ける債権者としての地位 (PCS: Preferred Creditor States) とは？

- ▶ 公共セクターのエクスポージャーにおいて、優先的に弁済を受ける債権者としての地位(PCS)とは、**ソブリン・デフォルトが発生した場合、一般的に他の債権者に優先して返済がなされることを意味する。**つまり、PCSでは、デフォルト発生時に、AfDBは他の債権者よりも返済が優先されることとなる。格付機関は、国際開発金融機関(MDBs)の評価に当たり、この特徴を考慮に入れている。
- ▶ 民間セクターのエクスポージャーでは、PCS には別のメリットがある。政府（ソブリン）によって外貨へのアクセスが制限される場合、格付機関は MDBsに対する返済には当該制限は適用されないものとみなす。このことにより、送金及び換算リスクが軽減される。例えば、ある国の債務がデフォルト又はデフォルト寸前の場合、民間セクターは外貨へのアクセスを制限されることがあるが、AfDBへの返済に関してはこの制限は適用されない。

AfDBの不良債権

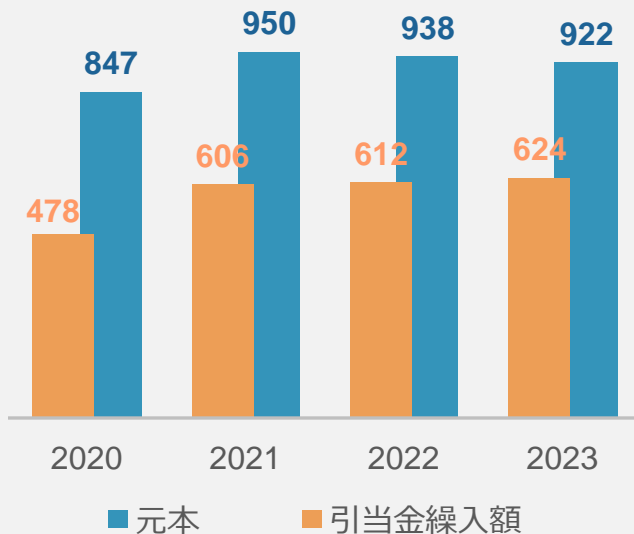
2023年12月末時点の不良債権（NPLs : Non-Performing Loans）の比率は3%

ソブリン融資（単位：千米ドル）

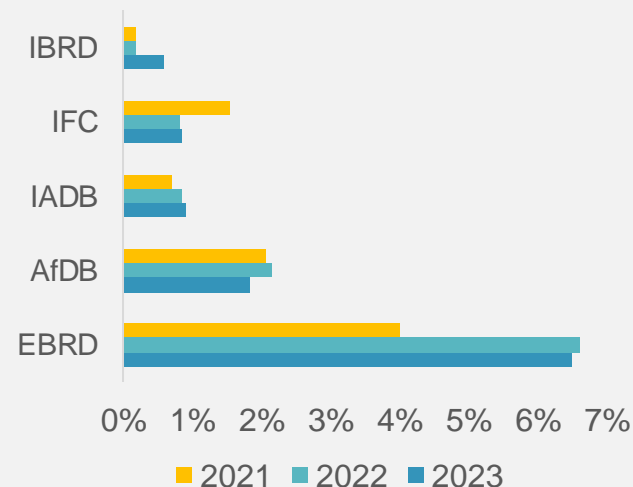
国	未払元本	元本の減損	減損率
ジンバブエ	274	116	42%
ソブリン NPLs	274	116	
ADB ソブリン融資*	26,423		
ソブリン NPLs	1.04%		

* 保証を除く

引当金の繰入傾向
（単位：百万米ドル）



不良資産/資産
（開発のための融資等残高）



出所: Moody's Investors Service

ノンソブリンNPLs（単位：百万米ドル）

セクター	未払元本	元本の減損	減損率
IND/MINI/QUAR	128	128	100%
IND/MINI/QUAR	81	81	100%
電力	66	66	100%
輸送	60	30	50%
輸送	56	27	49%
輸送	54	54	100%
IND/MINI/QUAR	50	50	100%
電力	42	13	32%
IND/MINI/QUAR	34	34	100%
農業	12	2	20%
輸送	11	3	24%
輸送	10	2	24%
輸送	9	4	49%
電力	7	7	100%
農業	5	1.1	23%
農業	5	1.1	23%
電力	4	0.6	14%
電力	4	0.5	14%
電力	3	0.5	14%
電力	2	0.8	32%
農業	2	0.5	23%
農業	2	0.5	23%
農業	1.1	0.2	20%
ノンソブリンNPLs	648	508	
ADBノンソブリン融資*	3,055		
ノンソブリン NPLs	15.8%		

* 保証を除く

債務償却に関するポリシーとは？

AfDBはこれまで、ソブリン保証付融資を債務償却したことはない。国家のデフォルトは、内乱や非常事態が発生した場合に行われたことがある。平和と安定が回復すると国家はAfDBとの関係を再開し、滞納金を返済するか、または通常は滞納金の清算のためにドナーから援助を受けることになる。

AfDBのポリシーでは、元本、利息または他の手数料の支払が30日延滞した場合、すべての滞納金が清算されるまで、当該加盟国又は当該国の公共部門に対する新たな融資について、理事会の承認を得るための手続きを行わず、既に承認されている融資も実行しない。このような国については、未実行のローンにかかる0.5%のコミットメントフィーの免除も適用されない。

AfDBは優先的に弁済を受ける債権者としての地位(PCS)のメリットを享受し、かつ、ソブリン債務者の不良債権エクスポージャーを厳しくモニターしているものの、これまでにいくつかの国はAfDBに対する適時の債務返済に困難をきたしたことがある。前述のとおり、AfDBはポートフォリオにおける損失の評価を踏まえ、ソブリン融資ポートフォリオに係る減損に対する引当を行う。

ノンソブリン融資では債務償却が発生する可能性があり、これについてはAfDBの営業純利益（NOI: Net Operating Income）によって支弁される。現在に至るまで、ノンソブリン融資の大規模な債務償却は実施されていない。

国際財務報告基準（IFRS）に則り、AfDBは通常債権であるノンソブリン・ポートフォリオに関しては、損失見込みをカバーするために一般引当を行うことはない。不良債権ポートフォリオに関しては、AfDBは個々の融資に関する信用減損または発生した損失の評価に基づき、特定貸倒引当金を繰り入れる。

脆弱な状態とは？

脆弱性が全くない国はない。脆弱性とは「**制度崩壊、社会崩壊または暴力的紛争のリスクが高まっている状態**」と定義することができる。脆弱性を評価する国際的に合意された枠組みや諸指標は存在しないが、業務上の目的及び新たな戦略のため、AfDBはその脆弱性の程度により国及び地域を分類している。

カテゴリー 1

- 国際開発金融機関（MDBs）間で脆弱な状態について調整したリスト、的を絞った質的な脆弱性評価、領土内での武力衝突の存在、暴力的な政治的・社会的暴動の存在。
- 例：アフリカ大湖地域及び中部アフリカ地域、アフリカの角、マノ川同盟、サヘル地域。

カテゴリー 2

- 隣接地域からの紛争の飛び火リスク；ガバナンス問題が増加傾向及び／または突発的に発生、社会・政治不安が持続するリスクが高い。
- 政策・制度運営の低下傾向及び／または脆弱性を惹起する重要な非政治的要因の存在。

カテゴリー 3

- 暴力または社会崩壊のリスクが相対的に低い、合法的／包摂的（インクルーシブ）な枠組内で、課題に対処する社会・政治制度の能力が相対的に高い。

アフリカにおける現場でのプレゼンスは？



41か国に確固たるプレゼンス。脆弱国にも拡大。

- AfDB職員の39%がフィールドオフィスに勤務
- プロジェクトの76%をフィールドオフィスから管理

各国独自のニーズ特定に理想的な拠点

より高い効率性

コンテキストのより深い理解

政策対話の強化

プロジェクト監理・質・エンゲージメントの改善

融資実行と事業における調達プロセスの改善

他の開発パートナーとの緊密な調整

AfDBの統合セーフガードシステムとは？

統合セーフガードシステム（ISS）は、資金源にかかわらず、AfDBが管理する信託基金の支援を受ける事業を含む、公債及びノンソブリン債などAfDBが支援する**全ての**事業に、ライフサイクル全体（特定、準備、査定、交渉、実行、中間レビュー、完了）を通じて適用されるAfDBグループの環境・社会的方針である。

この事業方針とオペレーショナル・セーフガード（OS）は、タイプや資金源にかかわらず、アフリカ開発銀行グループが支援する全ての事業に適用される。AfDBは事業を通じて、AfDBの規約に適合し、AfDBが許容できる方法及び期間内にOSの要件を満たすと見込まれる事業のみを支援する。

提案された事業による環境又は社会的影響に適切な対応ができない可能性がある場合、AfDBが判断した場合は、そのような事業を進めない判断をする可能性がある。これには、単独事業として提供されるか、又は事業やプロジェクトの一部として提供されるかにかかわらず、AfDBのあらゆる技術支援活動が含まれる。

AfDBは、支援対象として提案された全ての事業に関して、環境・社会デュー・デリジェンスを実施する。環境・社会デュー・デリジェンスの目的は、提案された事業の支援を行うかどうか、行う場合は、環境・社会リスク及び影響を事業の開発・査定・実行においてどのように考慮するかに関して、AfDBの決定を助けることである。

AfDBは、アフリカ開発銀行の「情報開示及びアクセスに関する方針」をこの方針に記載されている守秘義務に従って、借主が共有する全ての文書に適用する。

統合セーフガード追跡システム（ISTS）はAfDBのプロジェクト管理システムにリンクしており、プロジェクトのコンプライアンスと実績を直接追跡するために使用される。ISTSは、OSの要件が適切に満たされた場合に、プロジェクトが準備段階から査定段階へのみ進むことができることを確認するために使用される。このステップは、AfDBのE&Sセーフガードとコンプライアンス部門が検証する。

また、ISTSは、関連するOSの要件が適切に満たされた場合、プロジェクト文書が理事会にのみ提出できることを確認するために使用される。当該プロジェクト文書の査定報告書には、AfDBのE&Sセーフガードとコンプライアンス部門が発行する環境・社会コンプライアンスノート（ESCON）が添付されている。

アフリカ開発銀行グループ統合セーフガードシステム文書

<https://www.afdb.org/en/documents/african-development-bank-groups-integrated-safeguards-system-2023>

ISSとは、ソブリン及びノンソブリンの全ての事業にライフサイクル全体を通じて適用される環境・社会的事業方針である

倫理的な事業慣習とは？

- 2006年に他の国際開発金融機関（MDBs）と共に「不正・汚職の防止及び撲滅に関する統一枠組み（Uniform Framework for Preventing and Combating Fraud and Corruption）」を採択。これは国際開発金融機関が融資するプロジェクトの開発効果を上げるために汚職と不正を抑制するための協調戦略である。
- グッド・ガバナンス、倫理的な商慣行の推進、並びにAfDBの事業に適用される汚職防止及び透明性に関する国際基準の承認へのコミットメント。
- 組織の株主に対する受託者責任及び法的責任に基づき、経済、効率性及び競争的取引を考慮して、ソブリン保証を得ずに融資された民間セクターの事業及びその他の事業に関して**インテグリティ・デュー・デリジェンス（IDD）**を策定。

インテグリティ・デュー・デリジェンス(IDD)に関する指針原則

受益所有者の特定：
受益所有者の身元が確認できるまで取引を行わない

民事、刑事及び規制上のバックグラウンドの評価：インテグリティリスクに関連してカウンターパーティー及び重要な関連当事者の刑事、民事及び規制上の背景を厳密に評価する

制裁措置を受けた個人及び事業体：カウンターパーティー、重要な関連当事者又はその受益者のいずれかがAfDBグループまたは国際金融機関相互の枠組みで、排除又は受注資格を停止されているプロジェクトには融資しない

重要な公的地位を有する者（PEP: Politically Exposed Persons）及びその他の高いリスクを伴う関係：プロジェクトにPEPが関与する場合、標準的なIDD措置に加え、より厳格なIDDを実施すること

インテグリティ・リスク*の緩和：IDDプロセスの基本的な目的は、インテグリティ・リスクの特定及び緩和

インテグリティ・リスクの監視及び特別条項の執行：インテグリティ・リスクの早期警戒の兆候及び同リスクを示す事象を特定するため、プロジェクトサイクルを通して効果的に監視

記録管理：IDDプロセスに関連する全ての文書及びとられた措置に関する適切かつ信頼性のある記録の保存

* インテグリティ・リスクとは、プロジェクト及び投資判断における非倫理的行為に起因する悪評を含む財務上及び非財務上の損失が生じる可能性。

採取産業透明性イニシアティブとは？

採取産業透明性イニシアティブ（EITI: Extractive Industries Transparency Initiative）は、採取産業において透明性の強化によりガバナンスを促進することを目的とする。石油、ガス、金属及び鉱物などの天然資源は国民の所有物であり、これらの資源の採取は経済成長及び社会発展につながる可能性がある。しかしながら、その不十分な管理のため汚職や紛争を頻繁に招いてきた。国民全てが資源の恩恵を受けるためには、国による天然資源の管理法の開示性向上が求められる。

各国がEITI基準を実施することにより、石油・ガス及び鉱業会社から政府に支払われた租税その他の支払の開示が確保される。これらの支払がEITI年次報告書で開示されることで、国民は自国政府の天然資源収入額を知ることができる。

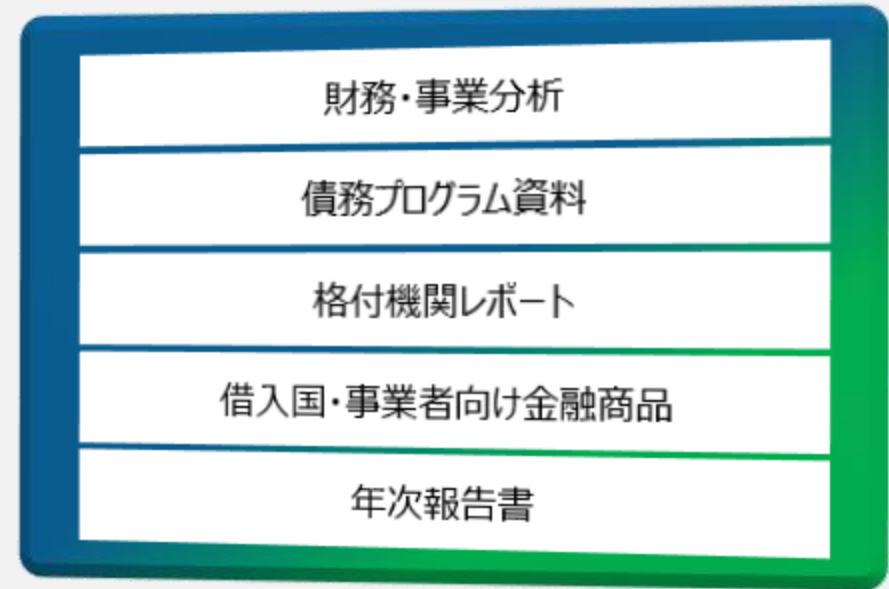
EITIは様々なステークホルダーに多くのメリットをもたらす。EITI実施国にもたらされるメリットとして、政府が透明性の向上に尽力しているという明確なメッセージを投資家や国際金融機関に示すことで投資環境が改善することが挙げられる。EITIはまた、説明責任及びグッド・ガバナンスの強化と政治・経済の安定性向上に資する。これは石油、鉱物及びガスセクターをめぐる紛争の防止にも貢献する。

企業及び投資家にもたらされるメリットは、政治的リスクと評判に関するリスクの緩和が中心となる。不透明なガバナンスによる政治不安は、投資にとって明らかな脅威である。採取産業は投資が資本集約的かつ収益化するには長期的安定が不可欠なため、かかる政治不安を軽減することは事業にとって有益である。政府への支払に関する透明性はまた、投資が国家に貢献していることの実証にも資する。

市民社会にとってのメリットは、政府が国民を代表して管理する歳入に関して公開情報量が増えることにより、政府の説明責任が向上することである。

AfDBはセクター事業にEITI原則を組み込む取り組みを行っている。域内加盟国にEITIプロセスへの参加を促し、適用可能な国に技術的・財政的援助を行うことで、採取産業における慣行の健全化と持続可能な開発のための天然資源の活用とを支援している。現在までに、中央アフリカ共和国、リベリア及びマダガスカルがEITI候補国になることに尽力し、このイニシアティブの順守及び実行に関してリベリア、シエラレオネ、チャド、トーゴ、ギニア及びマダガスカルなど様々なアフリカ諸国を支援している。

アフリカ開発銀行グループに関する詳細情報



FundingDesk@afdb.org



www.afdb.org



[AFDB <GO>](#)



[African Development Bank Group](#)



[afdb_group](#)

免責事項

この資料は、アフリカ開発銀行（以下、「弊行」）が、情報提供目的で作成したものです。この資料に示された意見は、作成時の弊行の判断を反映したものであり、何らの通知なく変更されることがあります。また、弊行は、いかなる者に対してもこの資料に示された意見・情報が変更される際に通知する義務を負いません。

弊行は、この資料に含まれる情報の正確性、完全性に関しても、明示または黙示のいかなる表明、保証、確約を行うものではありません。この資料は、弊行の有価証券の販売または勧誘を目的としたものではありません。個々の投資家の特定の投資目的、財務状況、ニーズを考慮に入れたものではありません。この資料で言及されている投資額、評価額は変動することがあります。過去の実績は将来の成果を導くものではなく、また、将来のリターンは保証されているものではありません。本資料を利用することにより生じたまたは被ったと主張する、いかなる損失、損害、債務または費用等（無制限の直接、間接、特殊なまたは重大な損害を含む）に対して、たとえ弊行がその可能性を通知されていたとしても、弊行は一切責任を負いません。

この資料をご覧になる皆様は、この資料の権利が弊行に帰属することを承認されたものとみなします。この資料の全てのコンテンツ（図、アイコン、資料の全体の概観及び内容を含みますが、これに限るものではありません）は弊行に帰属します。弊行は著作権、商標およびその他の知的財産権を含むいかなる権利も放棄いたしません。